

2016
国立大学法人
福島大学
概要

NATIONAL UNIVERSITY CORPORATION
FUKUSHIMA UNIVERSITY
OVERVIEW AND STATISTICS



国立大学法人
福島大学
Fukushima University

Fukushima University



-
- 全体の形は、福島大学の頭文字「F」を表している。
縦長の長方形は、大地（地域）にしっかりと根を下ろしている様を、二つの躍動感あふれるフォルムは、軽やかで爽やかな風がキャンパスを吹き抜ける様を表している。
 - 下の葉は学生の新しい芽吹きを想起させる「若草色」上の葉は変化と広がりを感じさせる「青のグラデーション」
 - 二枚の葉は、伝統に根ざした発展と伝統を継承する「人文社会学群」と、新しく創設した「理工学群」を表している。
 - 全体として、文理融合による教育重視の人材育成大学の発展への願いを託している。
-

【平成28年6月 発行】

福島大学総務課

〒960-1296 福島市金谷川1番地

TEL 024-548-5190

<http://www.fukushima-u.ac.jp/>

目 次

CONTENTS

学 長 メ ッ セ ー ジ	Message from the President	1	収 入 ・ 支 出 決 算 額	Closing Accounts : Revenue and Expenditure	22
新 生 福 島 大 学 宣 言	Declaration of a New Fukushima University	2	科 学 研 究 費 助 成 事 業	Grant-in-Aid for Scientific Research	23
中 井 プ ラ ン 2021	Nakai Plan 2021	3	外 部 資 金	Funds from Other Sources	23
福 島 大 学 ニ ュ ー ス	Fukushima University News	4	役 職 員 数	Number of Executives, Faculty and Staff	24
沿 革 略	Chronology	6	入 学 志 願 者 及 び 入 学 者	Number of Applicants and Enrolled Students	24
組 織 機 構 図	Organization Structure	8	学 生 の 定 員 及 び 現 員	Number of Students	25
運 営 組 織 図	Governing Structure	8	卒 業 生 数 及 び 修 了 生 数	Number of Graduates	26
学 群 ・ 学 類 ・ 研 究 科 ・ 学 系	Educational and Research Systems	9	卒 業 生 就 職 状 況	Employment After Graduation	28
・ 夜 間 主 コー ス (現 代 教 養 コー ス)	Course of Liberal Arts for Modern Society	11	外 国 人 留 学 生 数	Number of International Students	30
・ 研 究 科	Graduate Schools	12	奨 学 生	Scholarship Students	30
・ 学 系	Researchers Department	13	附 属 学 校 の 定 員 及 び 現 員	Off-Campus K-12 Schools	31
学 内 施 設 等	Campus Facilities	14	国 際 交 流 会 館	International House	31
学 術 刊 行 物	Academic Publications	17	学 生 寮	Dormitories	32
サ テ ラ イ ト 等	Satellite etc.	18	大 学 会 館	University Hall	32
国 際 交 流	International Exchange	18	土 地 ・ 建 物 面 積	Properties	33
歴 代 学 長	List of Former and Current Presidents	20	建 物 配 置 図	Campus Map	34
役 職 員	Administrators	20	部 局 等 の 所 在 地 案 内 図	Location of Offices	36
経 営 協 議 会 委 員	Management Council	21	部 局 等 の 所 在 地 及 び 電 話 番 号	Contact Addresses	37
教 育 研 究 評 議 会 評 議 員	Education and Research Council	21			

裏表紙 シンボルマークおよびその由来



「地域と共に歩む」 福島大学

学長 中井 勝己

President NAKAI Katsumi



国立大学法人は、平成28年4月より第3期中期目標期間に入りました。福島大学の第3期中期目標では、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に貢献できる“地域と共に歩む人材育成大学”として使命を果たすとともに、「21世紀的課題」が加速された福島における中核的学術拠点として、一層の発展を目指すことを謳っています。

福島県は、震災・原発事故から5年が経過した今でも福島県民9万人以上が県内外での避難生活を余儀なくされる状況が続いています。被災地にある福島大学は、発災直後の平成23年4月に「うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)」を立ち上げ、本学の専門性を活かして被災者・被災地域の支援活動を行ってきました。さらに、本学は長期にわたる放射能汚染の自然環境への影響を調査研究する機関として、平成25年度に「環境放射能研究所(IER)」を設置し、国内外の研究者を招聘し、国際的な研究を進めています。

また、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(COC事業)において、「原子力災害から地域再生をめざす『ふくしま未来学』の展開」(平成25年～29年度)が採択され、復興の担い手たる若者の人材育成のための新たな教育プログラムを実施しています。加えて、平成27年度には、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+事業)において「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開」(平成27年度～平成31年度)が採択されました。震災からの復興に取り組み6年目を迎えた福島県において、震災・原子力災害から地域再生の担い手たる若者の育成と同時に、若者の地元定着への取り組みが求められており、COC事業「ふくしま未来学」による学習成果をもとに、若者の地元定着を促進することを目指しています。

また、第3期中期目標中期計画とあわせて、震災・原発事故から10年にあたる2021年度までに本学が目指すべき方向、本学ならではの具体的プランとして、平成27年1月に福島大学の将来ビジョン「中井プラン2021」を発表しました。

第3期中期目標期間において、この「中井プラン2021」をさらに推し進めるため、教育研究組織の見直し、大学教育改革、入試方法をはじめとして様々な大学改革を進めていきます。引き続き、「地域と共に歩む」福島大学をご支援いただけますよう、宜しく願いいたします。

新生 福島大学 宣言



福島大学は国立大学法人として、2学群4学類12学系の新制度として新たに出発しました。2005年4月、この新生福島大学に新入生を迎えるにあたり、福島大学の理念、教育、研究、社会貢献・地域貢献、大学運営の基本原則を宣言します。

福島大学の 理念

(1) 自由・自治・自立の精神の尊重

福島大学は、自由、自治、自立の精神に基づき、大学の自律的運営が保障される高等教育機関として、その使命を果たします。

(2) 教育重視の人材育成大学

時代と社会のニーズに応える人材育成大学として社会に貢献する専門的職業人の育成をめざし、教育重視の大学として発展させていくとともに、市民に愛される大学として地域社会に密着する大学づくりを進めます。

(3) 文理融合の教育・研究の推進

人文科学、社会科学、自然科学の専門領域の旧来の枠組みのみにとらわれない文理融合の教育・研究を、柔軟な構造の下で推進します。

(4) グローバルに考え地域とともに歩む

海外姉妹校と教育・研究交流協定を締結し、海外留学制度の充実・外国人留学生の受け入れと交流を進め、国際的視野を深める教育の充実に努めます。社会人を積極的に受け入れ、地域における学習機会を拡大し、地域社会における諸問題に関する教育・研究の発展に寄与します。

教育一 知の継承・ 人材育成

(1) 自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間、社会に貢献し社会から評価される学生を育成するために、本学の少人数教育の伝統をさらに発展させ、きめ細かな教育を実践します。

(2) 文理融合の教育を推進し、キャリア形成教育及び就職支援指導を充実させ、広い視野と豊かな創造力を有する専門的職業人を育成します。

研究 一知の創造

(1) 真理の探究に関わる基礎研究から科学技術と結合する目的型研究に至る卓越した知の創造に努め、新たな学術分野の開拓と技術移転や新産業の創出等、研究成果を積極的に社会に還元します。

(2) 人文、社会、自然科学の学問領域や、基礎と応用などの研究の性格の差異にかかわらず、構成員が学問の自由と自主的・自律的な協力・共同をもって研究を進める環境を整備します。また萌芽的研究や若手研究者の育成に努め、常に新しさに挑戦し個性を引き出す研究体制を構築します。

社会貢献・ 地域貢献 一知の還元

(1) 大学が有する知的資源を積極的に地域社会に還元し、学術文化の継承発展とともに、教育・健康・福祉等生活基盤の整備充実に貢献します。そして東北・北関東の知の拠点として、世界に向けて発信していきます。

(2) 地域に存在感ある大学づくりを進めるため、地域社会への貢献にとどまらず、日本・世界への貢献にまで視野を広げ、さらに産官民学連携の活動を効果的に推進し、わが国の産業・経済・社会・教育・文化の持続的な発展に総合的に貢献します。

大学運営

(1) 大学の目標を達成するために、学生・院生、大学教職員、附属学校園教職員等全ての構成員が、男女共同参画の理念を踏まえ、それぞれの立場で大学の諸活動へ参画することを保障し、大学の民主的運営をめざします。全ての構成員は、相互に尊重し、大学の自治を発展させます。

(2) 大学運営において、高い透明性をもたせ、全構成員及び社会の信頼が得られるように十分な説明責任を果たします。

中井プラン 2021

～「地域と共に歩む人材育成大学」の発展をめざして～

地域と共に歩む人材育成大学

福島大学は、創立以来、福島の地において、教育、産業、行政など広く各界へ専門の人材を輩出し、自由・自治・自立の精神に基づき、文理融合の教育・研究を推進することにより、地域に存在感と信頼感ある高等教育機関としてその使命を果たしています。

福島大学は、震災・原発事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に貢献できる“地域と共に歩む人材育成大学”として使命を果たすとともに、「21世紀的課題」が加速された福島における中核的学術拠点として、一層の発展をめざします。

教育

地域課題に創造的に取り組むことのできる人材の育成を推進します。

教育改革推進のための組織整備

●教養教育、専門教育、教職教育等、本学が取り組んでいる教育活動を全般的に点検し、教育改革を推進するための組織を整えます。

「21世紀的課題」に対応する教育プログラムの整備

- 「ふくしま未来学」を本学にしかできない特修プログラムとして発展させ、復興を担える新たな人材育成機能を充実させます。
- グローバル人材育成に対応した教育プログラムを構築し、社会のグローバル化に応える教育活動を推進します。
- 福島県の学校教育の実情に即した教員養成機能の高度化を図ります。
- 震災後の食と農業に係る安全への問題に対応できる人材養成を推進します。
- 理工系人材育成機能の強化を図るとともに、再生可能エネルギー分野の人材育成を推進します。
- 環境放射能研究所の研究実績をもとに、人材育成の新たな機能を作ります。

基盤教育の充実と質保証の検証

- アクティブラーニングを採り入れ、人材育成をさらに強化します。
- 共通(教養)教育を充実させるとともに、学生の意欲に応える専門教育を追求します。
- 夜間主コースの役割を明確化し、制度の見直し、運営体制の整備を行います。

学生の学習環境の整備と経済的支援

- 老朽化した施設、設備を計画的にリニューアルします。
- 学生の自学習スペースを整備します。
- 学生生活への支援を充実させるため、「学生教育支援基金」を継続的に発展させます。

研究

福島における研究拠点大学として使命を果たします。

「21世紀的課題」が加速された福島での課題への積極的な取り組み

- 少子・高齢化の進展、コミュニティ崩壊、エネルギー問題など、震災・原発事故後に福島において加速化されたこれらの課題は日本全体の課題でもあり、本学は積極的に関わるとともに、研究成果を発信します。

環境放射能研究所による国際的な環境放射能動態研究の推進

- 海外研究者を積極的に招聘するなど、環境放射能研究所の体制・機能を強化し、環境放射能分野における国際的先端研究拠点として整備を進めます。また、環境放射能研究所の共同研究拠点化をめざし、その成果を地域に還元するとともに世界に発信します。

イノバティブ・ラーニングラボラトリ (ILab) による「未来創造型教育」の構築

- イノバティブ・ラーニングラボラトリにおいて、OECD東北スクール活動により得られた経験・知見を、新たな人材育成プログラムの開発研究へと発展させます。

社会貢献

福島創生の中核的な知の拠点として貢献します。

地域の中核的な知の拠点

- 福島県及び地域社会が抱える課題の解決に貢献する活動を積極的にを行い、社会の活性化及びイノベーションに基づく産業の成長に貢献します。

うつくしまふくしま未来支援センターの発展的改組

- 中長期的な視点にたち、うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)を改編し、復興や振興に資する組織として一層発展させ、地域に寄り添う支援活動を継続します。

福島県・国等との密接な連携による復興への貢献

- 福島県復興計画や国によるイノベーションコースト構想などを踏まえた活動に積極的に関わり、福島創生の一翼を担います。

教育研究組織の整備

社会ニーズに合致した教育研究組織を整備・充実します。

農学系人材養成組織の創設

- 震災後、食と農業に係る安全への問題から、福島県における農学系の専門的人材養成の必要性を望む声が高まっており、本学として担うべき役割を見極め、第3期の早い時期に農学系人材養成組織を創設することをめざします。

教職大学院の設置

- 福島県における学校教員の資質・能力の総合的な向上をめざし、福島県にふさわしい教職大学院を第3期の早い時期に設置することをめざします。

大学院既存研究科の再編

- 農学系人材養成及び教職大学院設置を実現する中で、地域ニーズを踏まえた研究科の再編をします。入学定員の増減、現専攻の改廃、新専攻の設置も視野に入れて早期に必要な再編を行います。

管理運営

「オール福島大学」で大学改革を実行します。

- 全教職員が情報を共有し、一人一人が役割を自覚し、やりがいを感じ、活躍できる職場環境をつくります。
- 本学の業務に関する客観的データの収集と分析を図り、恒常的な大学改革を推進するために「IR室」を設置します。
- 理事・副学長体制、選考方法の整備などにより、責任と権限を明確にし、効率的な管理運営体制を整えます。
- 「オール福島大学」をモットーに、教員人事管理を全学一元化し、柔軟で機動的な教員所属組織へ変えます。
- 新たな人件費管理の手法の導入による学長裁量経費等の確保により、戦略的な資源配分ができる環境にします。
- 総合的な財務戦略機能を高め、社会のニーズと変化に柔軟に対応できる財務構造にします。
- 福島大学創立70周年(2019年)の記念事業に取り組みます。

福島大学ニュース



テープカットを行う榎本剛参事官、
中井勝己学長、千葉悦子附属図書館長

附属図書館がリニューアルオープン



開放感があり人気の高いラーニングcommons

平成27年7月、福島大学附属図書館をリニューアルオープンしました。オープニングセレモニーでは、中井勝己学長、千葉悦子附属図書館長の挨拶及び工事概要説明に続いて、榎本剛文部科学省研究振興局参事官(情報担当)から祝辞が述べられ、テープカットの後、内覧会を開催しました。

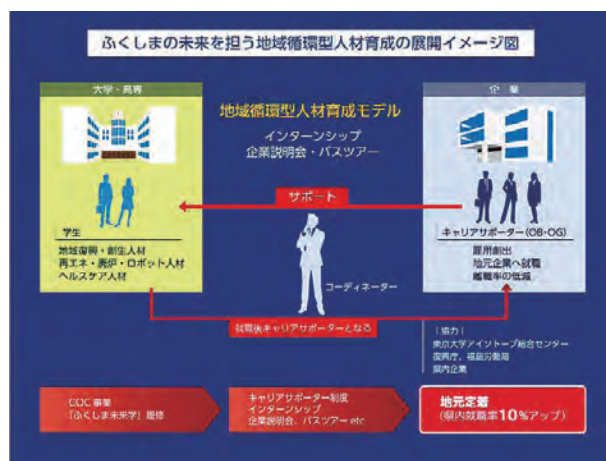
今回のリニューアルでは、本館の改修及び新館の増築を行い、床面積を従来の1.5倍にあたる約1万平方メートルにし、館内配置の再編を行いました。特に学生の自主的な学びを促す学修スペースであるラーニングcommonsの拡充を重点的に行い、200席以上を増設するとともに、学生の多様な学習活動に対応できるよう区画しました。また、書架の狭隘化対策として24万冊相当の収容力がある安全性・操作性の高い電動集密書架を設置したほか、学内に分散している資料を集約して学習・研究の利便性を高めました。

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に係る協定締結式及びキックオフシンポジウムを開催

平成27年度文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されたことを受け、「ふくしまの未来を担う地域循環型人材育成の展開」を実施するため、平成28年2月、福島県と参加校4校との連携・協力に関する協定を締結しました。協定締結式に先立って人材育成会議を行うとともにキックオフシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、事業概要説明のほか「ふくしま創生を担う人材の育成をめざして」をテーマにしたパネルディスカッションが行われ、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から5年を迎える福島県において、復興と地方創生の担い手となる若者の育成・地元定着を促進するこの事業への期待や、福島の実状・課題について意見が交わされました。



(写真左から)中村隆行校長(福島工業高等専門学校)、吉村作治学長(東日本国際大学)、内堀雅雄理事、中井勝己学長(福島大学)、遠藤静子学長(桜の聖母短期大学)



福島県知事、福島大学長特別対談 「福島の未来を語る～地方創生と若者への期待～」

平成27年11月、福島大学附属図書館において、内堀雅雄福島県知事と中井勝己学長の特別対談「福島の未来を語る～地方創生と若者への期待～」を行いました。

内堀知事からは、地元的高等教育機関、研究機関として福島大学には先導的な役割を果たしてほしいと期待の言葉が述べられました。それに対して中井学長は、本学が取り組んでいるふくしま未来学、災害ボランティアセンターの活動、文化財レスキュー等、教員、学生が一丸となって、復興に向け様々な活動を行っていることを説明しました。

また、地方創生の在り方については、県と高等教育機関の連携がカギであり、福島県、福島大学ともに県内の若者が地元の大学や企業に魅力を感じて福島に定着できる環境づくりに取り組んでいきたいとしました。



内堀雅雄知事



中井勝己学長



2016年度開催シンポジウム等

福島大学は、震災・原発事故後、復興に向けて日々研究・活動を行っており、その取り組みについて県内外に発信するため、様々なシンポジウムおよび報告会等を開催しています。

【県外】

平成27年11月には、一橋大学一橋講堂において、東京シンポジウム「ほんとの空が戻る日までー福島復興と地方創生ー」、平成28年3月には、愛知大学車道キャンパスコンベンションホールにおいて、名古屋シンポジウム「ほんとの空が戻る日までー震災・原発事故から5年を迎える福島を考えるー」を行いました。両シンポジウムは、福島復興過程で得られる経験を、復興のみならず今後の地方復興・創生につなげ、「復興知・支援知」として活かし県外へ発信していくことを目的に開催しました。

【県内】

平成27年12月、郡山ビューホテルアネックスにおいて、「平成27年度福島大学研究・地域連携成果報告会ー地域の願いそれが大学の研究となるー」を開催し、「食と農の復興に向けて5年間の取り組み」(小山良太 経済経営学類教授)等、福島大学の研究者が6つのテーマで報告を行いました。参加者からは「震災や原発事故の現状を多面的に知ることができた」「福島大学の取り組みを世界に発信すべき」「大学の研究成果を現場に生かしてほしい」等、たくさんのご意見をいただきました。

平成28年3月は、コラッセふくしまにおいて、「植物、動物や魚類への放射性物質の取り込み、森林、河川湖沼、海洋等における放射性物質のふるまい」に関する研究結果を一般の方にもわかりやすく紹介する機会として、「第2回福島大学環境放射能研究所(IER)成果報告会」を開催しました。IERとしては初の学外会場での報告会で、IER研究者と連携研究機関の代表者24名が口頭発表、関係研究機関等が37のポスター発表を行いました。



研究・地域連携成果報告会の会場の様子



IER成果報告会の発表者

沿革略

Chronology



福島大学

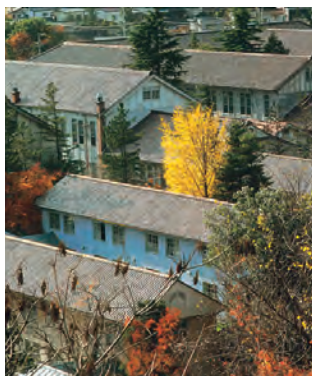
Fukushima University

昭和 24.5 設置

(平成16.4設立
国立大学法人)



旧浜田町キャンパス



旧森合キャンパス



移転当時の金谷川キャンパス

1949(昭和24)年5月31日、法律第150号国立学校設置法により、福島師範学校・福島青年師範学校・福島経済専門学校の3校を包括して、学芸学部と経済学部の2学部を持つ福島大学が設置されました。

国立新制大学の入学者選抜は、第1期・第2期に分けて行われ、福島大学は第2期に行われました。選抜の結果、学芸学部293名(4年課程101名、2年課程192名)、経済学部は161名の合計454名の入学が許可されました。

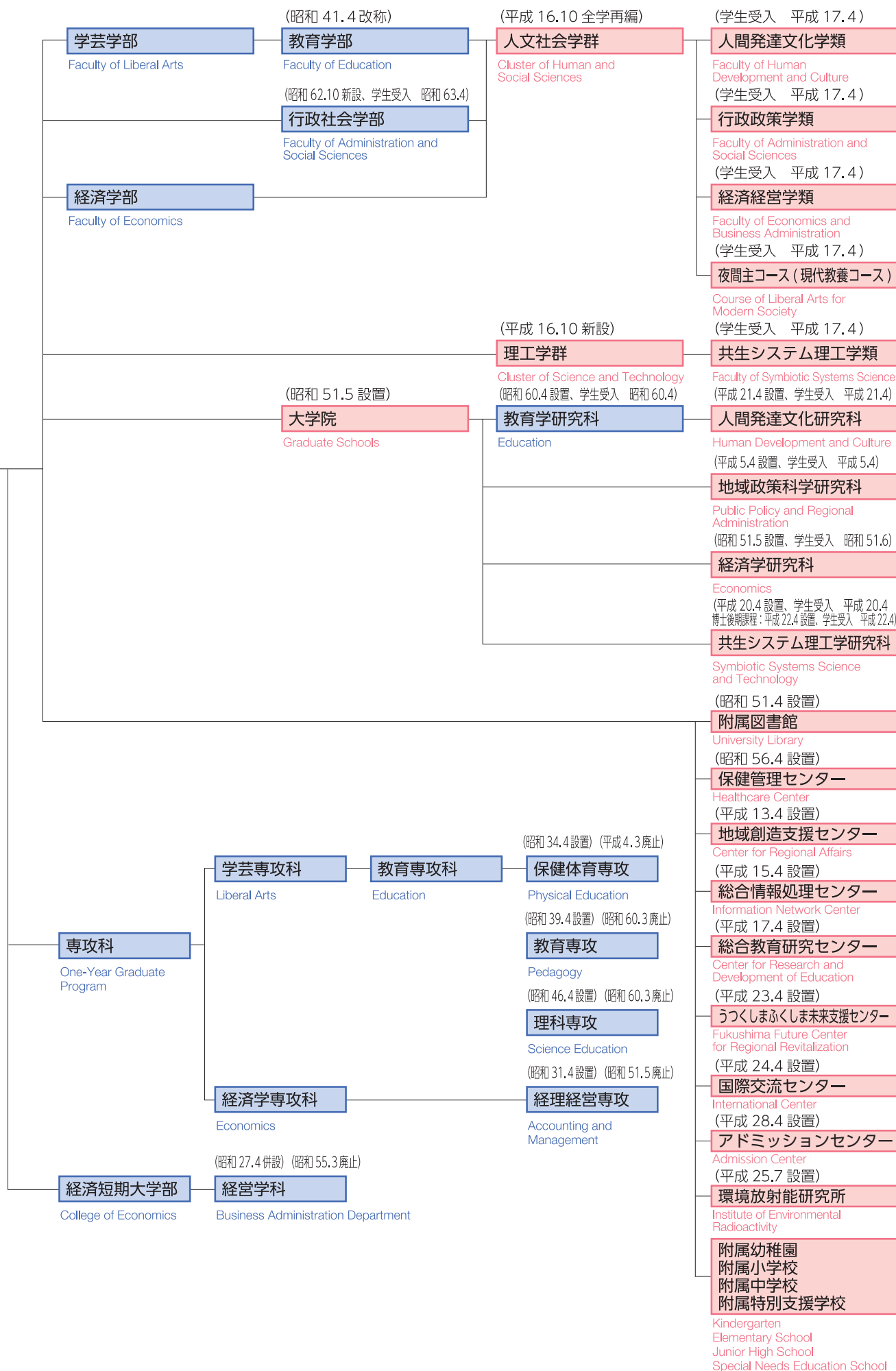
学芸学部には学芸部と教育部が置かれ、学芸部の中には人文科学科、社会科学科、自然科学科が、教育部の中には教育学科、教育心理学科、各科教育学科が置かれました。研究・教育の組織として全31講座が設けられました。

また経済学部には14講座が設けられました。

学芸学部は市内浜田町に、また経済学部は市内森合の2つのキャンパスに分散していたため、昭和54年に金谷川の地に統合移転しました。

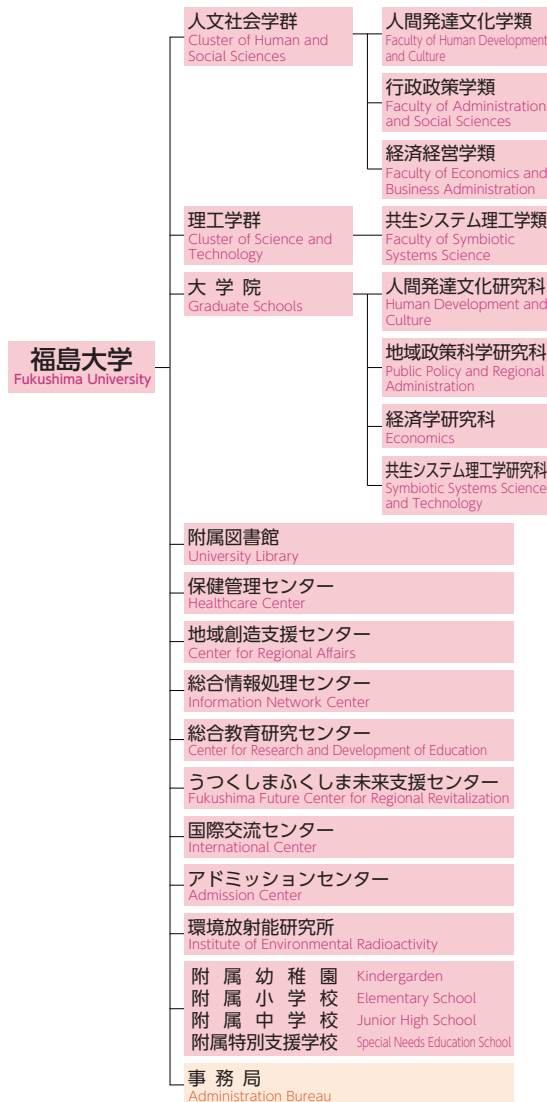
昭和62年10月に行政社会学部を増設し、平成16年10月、国立大学法人化のなかで理工学群共生システム理工学類を創設し、新たな出発をしています。

旧3学部を継承した3学類を人文社会学群としてくり、理工学群とともに2学群4学類の教育組織を実現するとともに、全教員が参加する研究組織として12の学系を構築しました。また、人文社会学群には、伝統ある社会人教育を継承して、夜間主コース(「現代教養コース」)を有しています。大学院についても既存3研究科とともに、平成20年4月には大学院共生システム理工学研究科を発足させ、充実した教育・研究を推進しています。



組織機構図

ORGANIZATION STRUCTURE



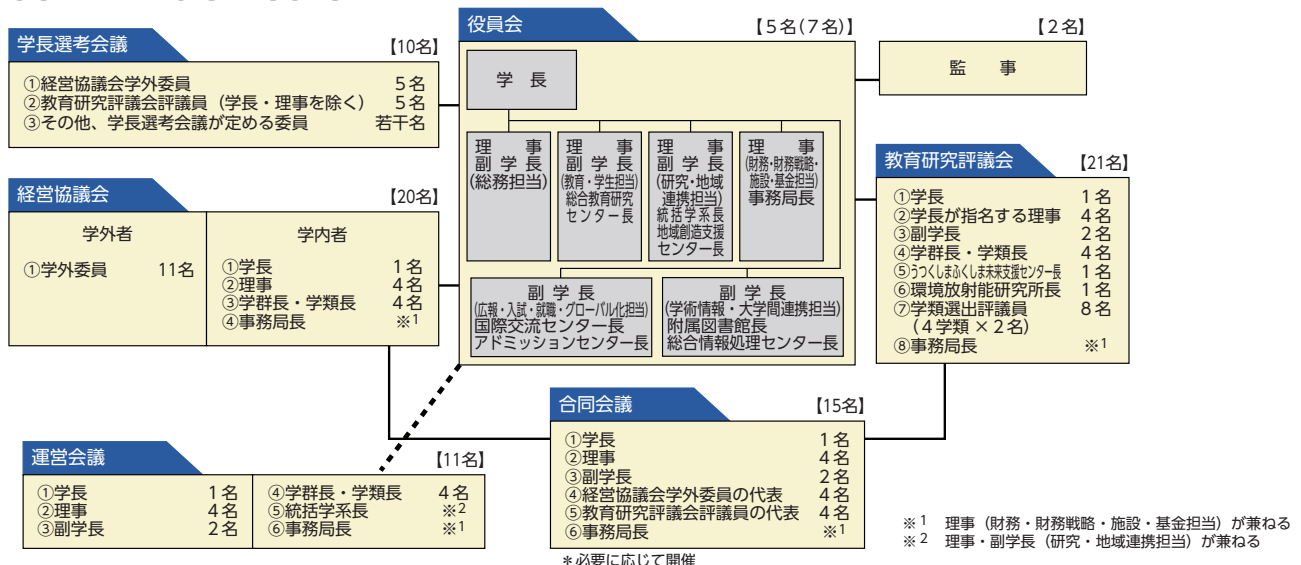
《事務組織図》

2016. 5. 1



運営組織図

GOVERNING STRUCTURE



学群・学類・研究科・学系

EDUCATIONAL AND RESEARCH SYSTEMS

学群・学類(教育組織 Educational Systems)

福島大学では、平成16年10月より教育組織と研究組織を分離した「学群・学類・学系制」を導入した。これまでの教育、行政社会、経済の3学部を人文社会学群と理工学群に再編し、人文社会学群に人間発達文化、行政政策、経済経営の3学類、理工学群に共生システム理工学類を設置し、17年4月から学生受入を開始した。また、人文社会学群には夜間主コース(現代教養コース)を設置している。

人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences

人間発達文化学類

Faculty of Human Development and Culture

■学類の紹介

人間の教育・発達とそれを支える文化の探究・創造に関心を持ち、直面する人間の教育・発達支援をめぐる現代的課題に積極的に貢献しようとする人材の育成を目的とする。学類はそうした多角的視点から人間の教育・発達支援に取り組む広義の教育者を養成するため、3専攻を置き教育を行う。すなわち、人間の教育・発達を深く理解し、その自立をサポートする教育的実践力と態度を育てる<人間発達専攻>、人間の教育・発達の基盤となる地域教育・文化に対する幅広い知識と現代的課題に挑む問題意識や探究力の形成をめざす<文化探究専攻>、人間の身体や感性の可能性を追求し、スポーツ・芸術を通して地域教育・文化を創造し人間発達の支援に貢献する<スポーツ・芸術創造専攻>である。

本学類では、学校教員を初めとし、社会の各分野で新時代をリードする教育関係者、人間発達の支援者を養成する。教員免許状は、長い伝統と実績を誇る旧教育学部時代とほぼ同様に、小学校・中学校・高等学校・幼稚園・特別支援学校教員免許状等を取得することができる。

■活動紹介 福島の教育的課題に取り組む

平成26年度から「学校教育支援実習」を新たな実践実習科目として設定した。これは、学校ボランティア活動をもとに学校での教育活動を支援しながら子どもたちへの理解を深め、現場の課題に取り組んでいくものである。また、放射線と健康に関する基礎的知識や復興教育に携わる際の実践的知識と心構えなどを学ぶ「復興教育学」も開講している。本学類では、このような学びや実践を通して福島の教育的課題に取り組んでいける力量の向上を図り、福島の次世代を育てる学校教員の養成に努めている。

学類生は大学での様々な学びをもとに、双葉郡の新たな教育を創造する取り組みにも積極的に関わって活躍している。



ふたば未来学園高校での実習支援活動

■学類の紹介

行政政策学類は、現代社会の課題を学際的な観点に立って教育研究し、地域や社会のニーズに応えることのできる人材を養成することを目的としている。法学、政治学、行政学、社会学、歴史学、文化研究、国際関係など学問分野の枠を超えて相互に関連させながら、学びを深求することが特色である。

2年生からは、(1)法学の体系履修を通じて、多様な社会現象に対処できる能力育成をする「法学専攻」、(2)地域の現状把握をしながら、政治・行政を学び、政策や計画を活かしながら新しい地域づくりを実現する「地域と行政専攻」、(3)社会や文化が直面する諸課題に、歴史的かつグローバルな視点から考える「社会と文化専攻」の3専攻により教育研究を深める。本学類では、少人数教育や実践学習である「実習・課題研究」等、学生が能動的に参加するアクティブ・ラーニングを導入した教育も特色である。

■活動紹介

ただそこにいるだけで～「いるだけ支援」の取り組み

行政政策学類の鈴木典夫教授の指導の下、学生たちが仮設住宅で一人の生活者として暮らすことで、それぞれの人生に寄り添っていかうとする「いるだけ支援」の取り組みが大きな反響を呼んでいる。近隣同士、声を掛け合い、体操をしたり、草をむいたりする。時には一緒に盆踊りを踊ったり、時には昼食をご馳走になったりする。ただそれだけのささやかな支援だが、温かく、ゆったりとした日常の交流が育まれている。昨年、学生たちの活動がNHKで全国放送され、支援の輪が全国的に広がりつつある。



いるだけ支援～いるだけの日常～

■学類の紹介

旧制福島高等商業学校以来、約90年の歴史と伝統を有し、約2万人の卒業生を輩出している。カリキュラムでは、2年生前期までに経済経営の基礎知識を習得することを目標に、リテラシー科目を設定している。また、調査や実習などでの実践を重視し、少人数教育の姿勢を打ち出している。外国語教育も充実しており、2015年よりグローバル人材育成プログラムをスタートさせた。

2年生後期からは専攻と演習に所属する。3専攻は以下のとおり。(1)経済分析のための理論と分析手法を身につける「経済分析専攻」、(2)地域経済・地域社会の諸問題を学ぶ「地域経済政策コース」と、現代世界の共通性と多様性を学ぶ「国際比較経済コース」からなる「国際地域経済専攻」、(3)組織のマネジメント方法を実践的に身につける「ビジネス・マネジメントコース」と、主に会計学を学ぶ「ビジネス・アカウンティングコース」からなる「企業経営専攻」である。

■活動紹介

産学連携による地域課題への取組

平成20年3月より、福島大学と東邦銀行が産学連携の一環で「地域戦略研究会(旧：会計戦略研究会)」を立ち上げ、定期的に社会人と学生が勉強会を開催している。本フォーラムは1年間の成果を総括講演として開催しており、平成27年度は「～ダイバーシティ・マネジメントで組織を変える、地域を変える～」と題して、外部で一般市民を対象に、伊藤宏ゼミ生を中心とした学類生と東邦銀行の方々が講演を行った。



地域戦略研究会風景

夜間主コース(現代教養コース)

Course of Liberal Arts for Modern Society

福島大学における社会人教育の実績と成果を踏まえて、社会人の新たな学習ニーズに対応するため、福島大学では、平成16年10月の全学再編を機に人文社会学群の夜間主コースとして「現代教養コース」が設置された。コースの中には、人間発達文化学類に対応する「文化教養モデル」、行政政策学類に対応する「法政策モデル」「コミュニティ共生モデル」、経済経営学類に対応する「ビジネス探究モデル」の、4つの履修モデルがある。学生は、一年次には3学類の教員が担当する「教養演習」を受講し、さらに二年次には、4モデルに対応する「基礎演習」を履修しつつ、いずれかのモデルに所属して学習する。履修基準は、緩やかに設定されており、昼間開講科目の履修ができるなど、多様な学びを支援する体制を整えている。



理工学群 Cluster of Science and Technology

共生システム理工学類

Faculty of Symbiotic Systems Science

■学類の紹介

共生システム理工学類は、21世紀の課題を解決し、私たちが安心・安全に生活するために、これまでの学問体系にはない理学-工学-人文社会科学を融合した「共生の科学・技術」の構築を目指している。既存の学問域を融合したシステム思考のもとに「人と環境の共生」・「人と産業の共生」・「産業と環境の共生」の3領域で教育研究を展開する。

「人間支援システム専攻」では、人理解にもとづく、人支援の科学を発展させる。「産業システム工学専攻」では、人や環境との共生に配慮した、持続可能な循環型産業システム科学を発展させる。「環境システムマネジメント専攻」では、自然資源の保全・浄化・管理計画の科学を発展させる。また、本学類に対応した共生システム理工学研究科(博士課程)を設置し、高度専門職業人・研究者の育成を目指している。

■活動紹介

磐梯朝日遷移プロジェクト

磐梯朝日遷移プロジェクトの目的は、自然の遷移や人間活動の影響で変化している自然環境を良好な状態で維持・保全しつつ、それを持続可能な形で人間が利用するための方策解明である。延べ16名の研究者とそれらの研究室の学生・院生が、裏磐梯・猪苗代地域を中心に調査研究活動を実施した。4年間の活動の集大成として、地域の河川・湖沼の水や堆積物、水域と陸域の生物多様性、地域の自然と人間との関わりなどに関する研究成果と自然環境の維持、保全、管理に関する提言を掲載した書籍『裏磐梯・猪苗代地域の環境学』を出版した。



学生の調査風景

人間発達文化研究科 Graduate School of Human Development and Culture

人間発達文化研究科は、多様な現代的教育課題に対応するため、今日、必要とされる高度な知識・技術を持つ人材育成を促進させる＜人材育成のエキスパート＞を養成していくことを目的とする。同研究科は3専攻・9領域から構成されている。具体的には、教職教育専攻では学校教育領域、カリキュラム開発領域が置かれ、いわゆる教職大学院の機能をも視野に入れ、地域に開かれた学校において多様なリソースを活用できる＜エキスパート教員＞を養成する。次に、地域文化創造専攻には、日英言語文化領域、地域生活文化領域、数理科学領域、スポーツ健康科学領域、芸術文化領域が置かれる。同専攻では、修士レベルの文化的専門性を基盤に地域社会の多様な諸課題を解決するために必要な学際的コーディネート力を獲得し、さらにその力を次世代の創出に不可欠な人材育成力へと連動させる＜地域支援エキスパート＞を養成する。そして、学校臨床心理専攻には、臨床心理領域、学校福祉臨床領域が置かれ、自立支援・発達支援・社会支援の専門的知識とスキルを持つ＜発達支援エキスパート＞を養成する。いずれの専攻も学類からの進学者の教育とともに、県教育委員会の協力のもと現職教員研修の場としても機能し地域社会に貢献する。とくに、学校臨床心理専攻では昼夜開講制をとり、社会人を含め多くの学生が研究を進めている。また、教職教育専攻を改組し、平成29年4月に教職大学院を設置する予定である。

地域政策科学研究科 Graduate School of Public Policy and Regional Administration

地域政策科学研究科は行政社会学部を基礎として、1993(平成5)年4月に開設。地域政策科学専攻の中に有機的科目群からなる5履修分野(地方行政、社会経済法、行政基礎法、社会計画、地域文化)を設け、行政政策学類の教育・研究の学際性を継承して、個別の学問分野では捉えきれない地域社会の諸問題に多角的な視点でアプローチし、様々な問題の解決方法を探究することを目的とする。

地域の社会的要請に対応しうる高度でユニークな大学院教育の達成を期するため、社会人特別選抜・社会人特別推薦選抜や昼夜開講制の導入、さらに、長期履修制度、一年修了型カリキュラム等、社会人の再教育、生涯教育を大学院にまで広げ、地域社会が求める総合的な政策の展開を図れる人材を育成する。

2012(平成24)年度からは現代的課題について体系的に研究するための「政策課題プログラム(権利擁護・災害復興・文化資源)」を開講し、災害復興・地域再生については「地域特別研究」などの授業科目において、地域行政や政策立案に関して現地調査等を実施し、地域社会が直面する課題の解決方法を具体的に研究する。

経済学研究科 Graduate School of Economics

経済学研究科は、経済学・経営学の専門知識の習得と研究能力の養成を目指している。経済学専攻・経営学専攻の2専攻から成る。

学術的な議論を踏まえて修士論文を執筆する「修士論文コース」に加えて、主に社会人が、実務経験に基づく資料収集や調査活動を積み重ねて研究レポートを作成する「課題研究コース」がある。昼夜開講制、長期履修制度など、有識者の研究活動を支援する諸制度も整備している。

2013年度から、特定テーマに関する科目群からなる「プログラム」制度を導入し、「地球産業復興プログラム」「会計税務プログラム」を開始した。前者は、放射能災害からの農業復興を主題として文科省が支援する「ふくしま未来食・農プログラム」(2013年度～2017年度)の教育組織であり、世界的にも前例のないカリキュラムとなっている。後者は、多くの会計・税務の専門家を出してきた伝統を継承し、東北税理士会など地元の支援を受けつつ地域経済復興に寄与することを目指している。また、2015年度からは新たに「ビジネスキャリア・プログラム」を開始した。これは、実践性のある高次のビジネスリテラシーを土曜日・日曜日開講の科目習得だけで修了できるものであり、遠方在住の方々の受講も可能にするプログラムとなっている。

共生システム理工学研究科 Graduate School of Symbiotic Systems Science and Technology

共生システム理工学研究科は、人・産業・環境の共生を新たな枠組みの学問体系で捉えるシステム科学を基盤とし、21世紀の複雑な課題の解決に実践的に貢献できる高度専門職業人・研究者を育成することを目標に掲げて、2008年(平成20)年4月に、共生システム理工学専攻の中に5分野(人間・機械システム、産業システム、環境システム、数理・情報科学、物質科学)を設けて開設し、2012(平成24)年度には、国立研究開発法人産業技術総合研究所と連携し、再生可能エネルギーの開発やエネルギー資源の需要・供給解析に関する科目群「再生可能エネルギー」分野を開設している。

2010(平成22)年4月から、博士後期課程を開設し、3領域(共生機械システム、産業共生システム、環境共生システム)を設けて、それぞれの分野・領域の連携や実務家等を入れた研究プロジェクトの実施を通じて、新たな課題の解決に対応できる実践的な人材を育成する教育研究体制を採用している。

新制度設計のもとに教育組織は学類として、研究組織は学系として位置付けられた。現在、13の学系が存在し、各教員は自己の専門領域に応じていずれかの学系に所属し、研究活動に従事している。各教員は学系を基盤に日々研究交流を行っている。そして今日、大震災・原発事故後の地域社会の多様なニーズに応えることを重要課題として意識し、学系プロジェクトや多様なプロジェクトを通して自治体の再生や支援、農林漁業や製造業の復興・再生、学校・教育支援などに関わっている。

人間・生活学系 Human Sciences

人間の存在、生活及びその発達について多角的・総合的に理解するために、倫理的・教育的・福祉的及び生活科学的観点から考察し、諸問題の有効な解決策を模索する。

心理学系 Psychology

人間の発達、行動、及び心理・精神的問題について研究を進め、専門的知識を深めるとともに、研究成果を社会に還元する方策を探る。

文学・芸術学系 Arts and Literature

文学・美術・音楽の近・現代化の研究、東アジアの文化と教育の比較論的研究、まちづくりと芸術プロジェクトとの連携の研究などを進め、地域還元をする。

健康・運動学系 Health and Sports Sciences

現代を生きる全ての人間に必要な「身体リテラシー」に関して、スタッフの多様な専門性を生かし、研究と教育に取り組んでいる。

外国語・外国文化学系 Foreign Languages and Cultures

各国の言語・文化等について共同研究を追求し、個人研究も含めた成果を公表するとともに、地域還元の一環として地域社会の諸活動を支援する。

法律・政治学系 Law and Politics

地域行政組織や社会的諸集団が直面する再編と改革の課題や新たな地域での役割と在り様に関して、地域研究団体と協力して総合的研究を行う。

社会・歴史学系 History and Society

「地域社会の総合的研究」。社会学、歴史学の方法で、地域社会の構造と変動につき研究する。共同研究を行い、成果は地域社会と共有したい。

経済学系 Economics

市場経済のシステムとパフォーマンス、世界経済・日本経済・地域経済の再生プログラム、グローバルゼーションと国民経済の変容を研究する。

経営学系 Business Administration

東日本大震災によって大きな影響を被った地域社会において、新たな産業を興し地域社会を再生するために「活力のある企業」が求められており、地域企業の活力を生み出すための各種研究と成果普及に取り組んでいる。

数理・情報学系 Mathematics and Information Technology

本学系では研究会を立ち上げ、お互いの研究内容を紹介したり、研究上の交流を深めている。また、プロジェクト研究として、地域における工場間の連携による産業活力創出について調査研究を予定している。

機械・電子学系 Mechanical and Electronics Engineering

メカトロニクス技術と心理学・生理学の知見を融合することにより、安全安心で快適な生活を実現するための新しいシステムを開発する。

物質・エネルギー学系 Materials and Energy Sciences

材料・資源・エネルギーの観点から、機能性物質の創製および応用研究を行うとともに、地域の技術者・研究者との産官学連携も目指す。

生命・環境学系 Life and Environmental Sciences

生命の多様性に関する研究、自然環境や人間活動の総体としての社会環境に関する研究などを通して豊かな環境を形成する方法の構築を目指す。

学内施設等

CAMPUS FACILITIES

附属図書館 UNIVERSITY LIBRARY

蔵書数 BOOKS AND PERIODICALS

2016. 3. 31

和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total	雑誌 Periodicals		
			和書 Domestic	洋書 Foreign	計 Total
682,550	233,669	916,219	10,895	3,104	13,999

平成27年度利用状況 UTILIZATION

区 分 Division	人 数 Persons		冊 数 Volumes	
	年 間 per year	一日平均 per day	年 間 per year	一日平均 per day
館外貸出 Loan	21,213	62.0	45,727	133.7
学 類 学 生 Undergraduates	16,787	49.1	33,191	97.0
大学院学生 Graduate Students	1,630	4.8	4,820	14.1
教 職 員 Faculty and Staff	2,137	6.2	5,917	17.3
学 外 者 External Users	659	1.9	1,799	5.3
入 館 者 数 Number of Visitors	197,750	578.2		

開館日数 342日 Open 342 days
(内土曜日 48日) Saturday 48 days
(内日曜日 61日) Sunday and holiday 61 days

※2015年7月にリニューアルオープンしました。



附属図書館
University Library



ラーニングcommons 1
Learning Commons1

主なコレクション MAIN COLLECTION

震災関連資料コーナー

Earthquake disaster related materials corner

東日本大震災の関連資料をはじめ、震災を原発・ボランティア・郷土・教育・科学・防災・産業など多様な観点から扱った資料を配置。

図書・雑誌・視聴覚資料など2016年3月現在約5,000点。

文 庫 Book collections

大塚久雄文庫 The Hisao Otsuka Collection

故大塚久雄先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数、合わせて図書6,058冊、雑誌約212タイトル、抜刷約1,682点、その他、ノート、原稿、講演テープ、色紙、写真、住所録等個人資料一山。

今野源八郎旧蔵書 The Genpachiro Konno Collection

故今野源八郎先生旧蔵の図書・雑誌・資料を受贈。その数、和洋合わせて図書4,455冊、雑誌294タイトル、資料13,553点、その他、パンフレット、リーフレット、地図、抜刷、コピーなど一山。その他、藤本文庫、藤田文庫、栗原文庫、二宮文庫、大森文庫、川村重和教授旧蔵書、松井秀親教授旧蔵書、三宅皓士教授旧蔵書、岡本友孝教授旧蔵書、佐藤恒久教授旧蔵書、珠玖拓治教授旧蔵書、下平尾勲名誉教授旧蔵書等。

大型コレクション Large collection

〔19～20世紀ロシア・ソビエト研究稀覯資料集〕

19th-20th century Russian and Soviet rare materials collection

〔ロシア帝国・ソビエト連邦法令集〕

Collection of laws and ordinances of the Russian Empire and Soviet Union

〔帝政ロシア及び現代ソビエト社会・経済研究 第1部、同第2部〕

Imperial Russian government and contemporary Soviet society: Economic research part 1 and 2

〔体育教育の歴史〕

A collection of rare books in the history of physical education. EDUCATION FOR HEALTH & PUBLIC WELFARE; from the "survival of the fittest" to "fitting the many to survive"



閱 覧 室
Reading Room

保健管理センター Healthcare Center



1981(昭56)年4月に設置され、1982(昭57)年3月に専用の建物が竣工。同年4月より本格的に業務が開始された。本センターでは、学生および教職員の健康の保持増進を図るために、保健管理に関する専門業務を行っている。具体的には、保健管理計画の企画及び立案、定期及び臨時の健康診断、精神的及び身体的健康相談、外傷・急病の応急処置、カウンセリングなどである。

地域創造支援センター(CERA) Center for Regional Affairs



大学の研究・教育の成果を地域の活性化や人材の育成に役立てていくことを目的として2001(平13)年4月に設置された本センターは、2008(平20)年4月に、教育面における社会貢献である「生涯学習活動」を推進する生涯学習教育研究センター(1995(平7)年4月設置)と統合し、地域と大学との協働・連携を推進するセンターとして、以下の活動を行っている。

- 自治体及び産業界との連携・相談窓口業務、研究シーズの出版、地域フォーラムの開催
- 生涯学習事業(公開講座・公開授業・出前講座)及びわくわくJr.カレッジ等の地域社会連携事業の企画運営
- CERAの広報誌・機関紙の発行、地域の経済社会に関する資料収集活動。貴重資料(松川資料室等)の管理

平成27年度は、文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」に採択され、再生可能エネルギー産業の人材育成・プログラム開発に取り組んだほか、研究推進機構と連携し、福島大学研究・地域連携成果報告会を開催した。

総合情報処理センター Information Network Center



総合情報処理センターは、1969(昭44)年に学内共同利用施設「計算センター」としてスタートした。その後、1987(昭62)年に学術研究・情報教育の高度化・多様化、社会における一層の情報化進展に対応するために、「情報処理センター」に改組、さらに2003(平15)年には教育研究・地域連携のための情報発信など多様な役割を担うべく省令施設に格上げされ、「総合情報処理センター」となった。

本センターは、5つの演習室と自習用のコーナーに300台を超えるパソコンが設置されており、「情報処理教育の場」・「自己学習スペース」として利用されている

とともに、「情報処理システム及びキャンパスネットワーク(FAINS: フェインズ)の運用・管理」、「本学の認証基盤となる全学認証システムの運用・管理」、「情報システムの利用についての技術指導」などの業務を行っている。



旧教育学部附属教育実践総合センターを拡充・改組して、「教育改革に関する調査・研究を行なうとともに、本学の教育活動及び教育支援活動を総合的に支援する」ことを目的に、2005(平17)年4月に設置された。

本センターは、高等教育開発部門(教育活動の質の維持・向上・改善等)、キャリア研究部門(キャリア開発支援・調査研究及び就職支援等)、教職履修部門(全学教員養成課程支援等)、教育相談部門(附属臨床心理・教育相談室を併設した教育現場等からの教育相談等)、現職研修部門(現職教職員研修及び学校教育関係機関との連携等)の5部門が設置されており、各部門が本学関係部署や県内関係機関等と連携した業務を行っている。

また、多目的(授業、学術講演、各種セミナー、ワークショップ、会議等)に利用可能な「特別教室」と少人数による教育実践分析・検討、演習、研究会等ができる「授業分析室」の施設があり、学内外でも広く活用されている。

うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)

Fukushima Future Center for Regional Revitalization



東日本大震災や福島第一原子力発電所事故により世界的に知れ渡るところとなった福島の住民は、困難を乗り越え、被災地を復旧・復興させていくという強い意志を持って立ち上がっている。

地域と共に歩んできた福島大学は、こうした人々とともに力を合わせ、長期に及ぶ復旧・復興に組織的に対応するため、平成23年4月に「うつくしまふくしま未来支援センター」を設立した。

本センターでは、自治体等と協力しながら、

- ・被災した子どもたちの学びや自立への支援
- ・地域コミュニティの再生と地域産業の復興への支援
- ・汚染された自然環境の回復への支援

さらに、双葉郡楢葉町や川内村、南相馬市にもサテライトを設置し、地域に密着した支援活動を展開している。



うつくしまふくしま未来支援センター(FURE)
マスコットキャラクター「めばえちゃん」

国際交流センター

Fukushima University International Center



福島大学国際交流センターは、海外の大学等との学術交流及び学生交流の企画・推進、留学生教育の企画立案及び教育研究面での国際交流を図ることを目的として、平成24年4月に設立された。留学生の派遣及び受入れ、短期留学プログラムの企画・立案、留学生の修学上及び生活上、修学環境の整備及び充実に関するサポートを行っている。具体的には、学生の留学や国際交流活動についての相談、留学生の奨学金や在留資格、地域でのイベント等についての案内や手続き業務がある。

日本人学生が留学や語学検定試験を受験する際に参考となる図書や、留学生が日本語や日本文化を学ぶための図書、英文書籍の閲覧スペースを設置しており、書籍の貸出も行っている。



環境放射能研究所は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性核種の環境中の挙動を長期間にわたって調査・解析し、解明することを目的として2013年7月に設置された。国内の大学・研究機関、さらには実績ある海外の研究者・大学・研究機関と連携して研究活動を行っている。外国人研究者も多数在籍し、世界に開かれた環境放射能研究の先端研究拠点としての役割を担っている。

研究分野は大気、森林、河川湖沼、海洋と広範囲にわたる。事故から現在までの環境中の放射性物質の挙動の解明に加え、将来の挙動を予測することも重要である。これらの研

究成果は、放射線防護や効果的な除染方法の策定、住民の帰還や産業の復興など、より具体的な復興活動の基礎となる。

環境中の放射性物質の移行のうち主なものとして水の作用による侵食、運搬、堆積によるものがあるが、それ以外にも様々なものがある。ひとつは生物作用による移行、つまり生態系への影響である。この研究課題では、野生動物や魚類への放射性セシウムの移行状況調査とそのメカニズム研究をはじめ、住民の避難によって行動範囲を拡大した野生動物がもたらすさまざまな影響などのテーマにも取り組んでいる。また、農作物をはじめとする植物がどのようなメカニズムで放射能を取り込むのか、土壌粒子の構造や土壌中の化学成分などミクロまで踏み込み、植物生理との関連を解明することも重要なテーマである。これらは、農林水産業の復興に際して懸念される問題やその発生メカニズムを扱う研究であり、問題に対する対策策定や帰還の判断に資するものである。

さらに測定機器の開発や、環境放射能のアーカイブセンターとしての機能も備えており、総合的な環境放射能研究施設として活動を展開している。

学術刊行物

ACADEMIC PUBLICATIONS

2016. 5. 1

部 局 等 Division	刊 行 物 名 Name	年発行回数 Issues per year
福 島 大 学 Fukushima University	福 島 大 学 研 究 年 報 Annual Report of Fukushima University	1 回
人 間 発 達 文 化 学 類 Faculty of Human Development and Culture	福島大学人間発達文化学類論集(人文科学部門) Bulletin of The Faculty of Human Development and Culture (Liberal Arts)	2 回
	// (社会科学部門) (Social Sciences)	2 回
	// (教育・心理学部門) (Education・Psychology)	2 回
	// (自然科学部門) (Natural Sciences)	2 回
行 政 政 策 学 類 Faculty of Administration and Social Sciences	行 政 社 会 論 集 The Journal of Administration and Social Sciences	4 回
経 済 経 営 学 類 Faculty of Economics and Business Administration	商 学 論 集 Journal of Commerce, Economics and Economic History	4 回
保 健 管 理 セ ン タ ー Healthcare Center	福島大学保健管理センター紀要 Bulletin of the Healthcare Center	1 回
地 域 創 造 支 援 セ ン タ ー Center for Regional Affairs	地域創造支援センター年報 Annual Report of Center for Regional Affairs	1 回
	福 島 大 学 地 域 創 造 Fukushima University Journal of Regional Affairs	2 回
総 合 教 育 研 究 セ ン タ ー Center for Research and Development of Education	総合教育研究センター紀要 Bulletin of Center for Research and Development of Education	2 回
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization	うつくしまふくしま未来支援センター年報 Annual Report of Fukushima Future Center for Regional Revitalization	1 回



サテライト等

SATELLITE ETC.

街なかランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA



街なかランチ舟場は、平成21年10月1日、福島市舟場町の職員会館を改修し、教職員の福利厚生施設及び地域との連携を推進する拠点施設として設置され、以下の事業を行っている。

- 地域社会、地域住民の福祉・文化の向上を支援
 - 地域の皆様を対象とした公開講座やセミナーなどを開講
 - 地域の皆様からの臨床心理・教育相談に対応
- 地域振興・産業の振興を支援
 - 産業界や地域との共同研究などを実施
 - 技術相談・経営相談などに対応
 - 産学連携研究会・産学連携セミナーを実施



CERAリエゾン・オフィス CERA Liaison Office

福島市内の「街なかランチ舟場」にリエゾン・オフィスを設け、福島大学と地域社会との間により密接な連携・協働・交流関係を築く場所として、『産・官・民・学』連携を目指し、リエゾン(橋渡し)活動を行う。

福島大学東京連絡事務所(東京都渋谷区)

Fukushima University Tokyo Liaison Office (Shibuya Ward, Tokyo)

本学学生が首都圏での就職活動やゼミ活動の連絡場所として、また、入試広報等の活動拠点とする目的のため、福島大学信陵同窓会東京信陵会「信陵会館」内に平成18年4月1日に開設。

喜多方市産学官連携室(喜多方市熱塩加納総合支所)

Kitakata Industry, Government and Academic Liaison Chamber (Atsushio-kanou General Branch Office of Kitakata City)

喜多方市との協定に基づき、産学官連携事業、地域産業の振興、産業人材の育成事業等の目的のため喜多方市熱塩加納総合支所(住所：喜多方市熱塩加納町相田字大森5000)にある「産学官連携室」を県内の大学等で利用している。

うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライト(檜葉サテライト, 川内分室)

Iwaki, Futaba Area Support Satellite (Naraha Satellite, Kawauchi branch Office)

うつくしまふくしま未来支援センターは、東日本大震災及び原発事故に伴い避難を余儀なくされた福島の被災者と被災地域の復旧・復興の支援に取り組んでおり、相双地域支援サテライトは、現地と大学を繋ぐ拠点として被災地域に密着した活動を行っている。このほか南相馬市にもサテライトを設置している。(常駐者なし)

国際交流

INTERNATIONAL EXCHANGE

2016. 5. 1

国名 Nations	大学名 University	締結年月日 Effective Since
中華人民共和国 People's Republic of China	北京師範大学 Beijing Normal University	1990年12月11日 Dec. 11, 1990
	華東師範大学 East China Normal University	1995年7月1日 Jul. 1, 1995
	河北大学 Hebei University	1998年11月2日 Nov. 2, 1998
	中南財經政法大學 Zhongnan University of Economics and Law	2001年3月22日 Mar. 22, 2001
	西南交通大學 Southwest Jiaotong University	2011年9月1日 Sep. 1, 2011
	重慶理工大学 Chongqing University of Technology	2014年10月29日 Oct. 29, 2014

国 名 Nations	大 学 名 University	締結年月日 Effective Since
台 湾 Taiwan	国立台北大学 National Taipei University	2007年4月3日 Apr. 3, 2007
大 韓 民 国 Republic of Korea	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	2006年3月14日 Mar. 14, 2006
	ソウル市立大学校 University of Seoul	2011年1月27日 Jan. 27, 2011
	中央大学 Chung-Ang University	2014年11月19日 Nov. 19, 2014
	ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学大学 Vietnam National University Hanoi College of Social Sciences and Humanities	2001年6月20日 Jun. 20, 2001
ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Vietnam	ベトナム国家大学ハノイ自然科学大学 Vietnam National University Hanoi College of Science	2007年9月24日 Sep. 24, 2007
	ホアセン大学 Hoa Sen University	2016年2月18日 Feb. 18, 2016
	シアクアラ大学 Syiah Kurara University	2014年7月8日 Jul. 8, 2014
インドネシア Republic of Indonesia	クイーンズランド大学 The University of Queensland	2001年10月26日 Oct. 26, 2001
オーストラリア Australia	ウィスコンシン大学オーグレア校 University of Wisconsin Eau Claire	1992年12月8日 Dec. 8, 1992
アメリカ合衆国 United States of America	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	1996年7月2日 Jul. 2, 1996
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York	2012年12月26日 Dec. 26, 2012
	コロラド州立大学 Colorado State University	2013年6月3日 Jun. 3, 2013
	サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	2014年1月24日 Jan. 24, 2014
	オザークス大学 University of Ozarks	2015年6月10日 Jun. 10, 2015
	ジョージア大学 University of Georgia	2015年9月2日 Sep. 2, 2015
	スターリング大学 University of Stirling	2008年1月25日 Jan. 25, 2008
	ウィンチェスター大学 The University of Winchester	2010年5月29日 May. 29, 2010
	ドイツ連邦共和国 Federal Republic of Germany	2009年10月8日 Oct. 8, 2009
	ルーマニア Romania	2015年6月10日 Jun. 10, 2015
ベラルーシ共和国 Republic of Belarus	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	2012年2月24日 Feb. 24, 2012
	ウクライナ Ukraine	2015年4月1日 Apr. 1, 2015
	ウクライナ国立生命環境科学大学 National University of Life and Environmental Sciences of Ukraine	2015年4月1日 Apr. 1, 2015
ノルウェー王国 Kingdom of Norway	チェルニーヒウ国立工科大学 Chernihiv National University of Technology	2015年4月1日 Apr. 1, 2015
	オデッサ国立環境大学 Odessa State Environmental University	2015年4月1日 Apr. 1, 2015
	トルコ Republic of Turkey	2015年8月18日 Aug. 18, 2015
カナダ Canada	アンカラ大学 Ankara University	2016年3月12日 Mar. 12, 2016
	中東工科大学 Middle East Technical University	2016年4月28日 Apr. 28, 2016
	ブリティッシュコロンビア大学 University of British Columbia	2016年4月28日 Apr. 28, 2016

学生交流協定校における交換留学 Student Exchanges

2016. 5. 1

年度 Year	派遣大学 Host Institution	人 数 Number of Students	派遣元大学(受入れ) Home Institution	人 数 Number of Students
28 2016	華東師範大学 East China Normal University	1	コロラド州立大学 Colorado State University	5
	河北大学 Hebei University	2	ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	2
	韓国外国語大学 Hankuk University of Foreign Studies	1		
	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York	1		
	ミドルテネシー州立大学 Middle Tennessee State University	1		
	ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	2		
	ブカレスト大学 University of Bucharest	2		
	ベラルーシ国立大学 Belarusian State University	1		

学生交流協定校における短期プログラム Short-term Programs

2015.4.1~2016.3.31

年度 Year	派遣大学 Host Institution	人 数 Number of Students	派遣元大学(受入れ) Home Institution	人 数 Number of Students
27 2015	華東師範大学 East China Normal University	7	重慶理工大學 Chongqing University of Technology	2
	中央大学 Chung-Ang University	4	クイーンズランド大学 The University of Queensland	2
	クイーンズランド大学 The University of Queensland	24	ニューヨーク州立大学アルバニー校 University at Albany, State University of New York	6
	コロラド州立大学 Colorado State University	5	コロラド州立大学 Colorado State University	6
			オザークス大学 University of Ozarks	1
			ルール大学ボーフム Ruhr-Universität Bochum	3
			ハノーファー大学 Leibniz University of Hanover	4

歴代学長

LIST OF FORMER AND CURRENT PRESIDENTS

西 沢 喜洋芽 NISHIZAWA Kiyome	昭24. 5.31 May. 31, 1949	～	昭29. 2.17 Feb. 17, 1954	渡 辺 源次郎 WATANABE Genjiro	昭54. 2.16 Feb. 16, 1979	～	昭56. 2.15 Feb. 15, 1981
阿 部 久 次 ABE Kyuji	昭29. 2.17 Feb. 17, 1954	～	昭32. 2.16 Feb. 16, 1957	伊 藤 巳喜夫 ITO Mikio	昭56. 2.16 Feb. 16, 1981	～	昭59. 2.15 Feb. 15, 1984
阿 部 久 次 ABE Kyuji	昭32. 2.17 Feb. 17, 1957	～	昭35. 2.16 Feb. 16, 1960	山 田 舜 YAMADA Akira	昭59. 2.16 Feb. 16, 1984	～	昭62. 2.15 Feb. 15, 1987
阿 部 久 次 ABE Kyuji	昭35. 2.17 Feb. 17, 1960	～	昭37.10.30 Oct. 30, 1962	山 田 舜 YAMADA Akira	昭62. 2.16 Feb. 16, 1987	～	平元. 2.15 Feb. 15, 1989
服 部 英太郎 HATTORI Eitaro	昭37.10.30 Oct. 30, 1962	～	昭40.10.29 Oct. 29, 1965	篠 筒 憲 爾 SASAKI Kenji	平元. 2.16 Feb. 16, 1989	～	平4. 2.15 Feb. 15, 1992
服 部 英太郎 HATTORI Eitaro	昭40.10.30 Oct. 30, 1965	～	昭40.12.20 Dec. 20, 1965	星 埜 惇 HOSHINO Atsushi	平4. 2.16 Feb. 16, 1992	～	平7. 2.15 Feb. 15, 1995
平 井 博 (事務取扱) HIRAI Hiroshi (acting)	昭40.12.20 Dec. 20, 1965	～	昭41. 2.18 Feb. 18, 1966	吉 原 泰 助 YOSHIHARA Taisuke	平7. 2.16 Feb. 16, 1995	～	平10. 2.15 Feb. 15, 1998
海 後 勝 雄 KAIGO Katsuo	昭41. 2.18 Feb. 18, 1966	～	昭43.10.15 Oct. 15, 1968	吉 原 泰 助 YOSHIHARA Taisuke	平10. 2.16 Feb. 16, 1998	～	平12. 2.15 Feb. 15, 2000
玉 山 勇 (事務取扱) TAMAYAMA Isamu (acting)	昭43.10.15 Oct. 15, 1968	～	昭44.12. 4 Dec. 4, 1969	吉 原 泰 助 YOSHIHARA Taisuke	平12. 2.16 Feb. 16, 2000	～	平14. 2.15 Feb. 15, 2002
野 村 正 次 (事務取扱) NOMURA Masaji (acting)	昭44.12. 4 Dec. 4, 1969	～	昭46. 3.31 Mar. 31, 1971	臼 井 嘉 一 USUI Yoshikazu	平14. 2.16 Feb. 16, 2002	～	平18. 3.31 Mar. 31, 2006
安 田 初 雄 (事務取扱) YASUDA Hatsuo (acting)	昭46. 4. 1 Apr. 1, 1971	～	昭48. 2.16 Feb. 16, 1973	今 野 順 夫 KONNO Toshio	平18. 4. 1 Apr. 1, 2006	～	平22. 3.31 Mar. 31, 2010
玉 山 勇 TAMAYAMA Isamu	昭48. 2.16 Feb. 16, 1973	～	昭51. 2.15 Feb. 15, 1976	入 戸 野 修 NITTONO Osamu	平22. 4. 1 Apr. 1, 2010	～	平26. 3.31 Mar. 31, 2014
渡 辺 源次郎 WATANABE Genjiro	昭51. 2.16 Feb. 16, 1976	～	昭54. 2.15 Feb. 15, 1979	中 井 勝 己 NAKAI Katsumi	平26. 4. 1 Apr. 1, 2014	～	

役 職 員

ADMINISTRATORS

2016. 5. 1

学 長 President	中 井 勝 己 NAKAI Katsumi
理事・副学長(総務担当) Executive Director・Vice President (General Affairs)	中 田 スウラ NAKATA Sura
理事・副学長(教育・学生担当) Executive Director・Vice President (Education and Academic Affairs)	三 浦 浩 喜 MIURA Hiroki
総合教育研究センター長 Director, Center for Research and Development of Education	
理事・副学長(研究・地域連携担当) Executive Director・Vice President (Research and Regional Affairs)	小 沢 喜 仁 OZAWA Yoshihito
統括学系長 Chair, Researchers' Department	
地域創造支援センター長 Director, Center for Regional Affairs	
理事(財務・財務戦略・施設・基金担当) Executive Director (Finance, Financial Strategy, Facility and Fund Affairs)	若 井 祐 次 WAKAI Yuji
事務局 長 Director General	
監 事 Auditor	上 井 喜 彦 KAMII Yoshihiko
監 事 Auditor	橋 本 潤 子 HASHIMOTO Junko
副学長(広報・入試・就職・グローバル化担当) Vice President (Public Relations, Admission, Employment and Global Affairs)	真 田 哲 也 SANADA Tetsuya
国際交流センター長 Director, International Center	
アドミッションセンター長 Director, Admission Center	
副学長(学術情報・大学間連携担当) Vice President (Academic Information, Inter-University Affairs)	千 葉 悦 子 CHIBA Etsuko
附属図書館長 Director, University Library	
総合情報処理センター長 Director, Information Network Center	
保健管理センター所長 Director, Healthcare Center	渡 辺 厚 WATANABE Atsushi
うつくしまふくしま未来支援センター長 Director, Fukushima Future Center for Regional Revitalization	初 澤 敏 生 HATSUZAWA Toshio
環境放射能研究所 長 Director, Institute Environmental Radioactivity	難 波 謙 二 NANBA Kenji
人文社会学群 長 Provost, Cluster of Human and Social Sciences	千 葉 養 伍 CHIBA Yogo
人間発達文化学類 長 Dean, Faculty of Human Development and Culture	千 葉 養 伍 CHIBA Yogo
行政政策学類 長 Dean, Faculty of Administration and Social Sciences	久 我 和 巳 KUGA Kazumi
経済経営学類 長 Dean, Faculty of Economics and Business Administration	阿 部 高 樹 ABE Takaki
理工学群 長 Provost, Cluster of Science and Technology	二 見 亮 弘 FUTAMI Ryoko
共生システム理工学類 長 Dean, Faculty of Symbiotic Systems Science	二 見 亮 弘 FUTAMI Ryoko
附属幼稚園 長 Kindergarten Principal	渡 邊 隆 WATANABE Takashi
附属小学校 長 Elementary School Principal	鶴 巻 正 子 TSURUMAKI Masako
附属中学校 長 Junior High School Principal	川 本 和 久 KAWAMOTO Kazuhisa
附属特別支援学校 長 Special Needs Education School Principal	飛 田 操 HIDA Misao

学長室長	Chief, office of the President	佐藤孝夫	SATO Takao
監査室長	Chief, Auditing Unit	高野佐知子	TAKANO Sachiko
総務課長	Chief, General Affairs Division	山下直也	YAMASHITA Naoya
農学系教育研究組織設置準備事務室長	Chief, Preparation Office for Formation of Agricultural Education and Research Organization	山崎裕	YAMAZAKI Yutaka
人事課長	Chief, Personnel Division	阿久津秀美	AKUTSU Hidemi
財務課長	Chief, Financial Affairs Division	齋藤祐司	SAITO Yuji
施設課長	Chief, Facilities Division	佐藤一夫	SATO Kazuo
教務課長	Chief, Educational Affairs Division	三本木勝則	SANBONGI Katsunori
学生課長	Chief, Student Affairs Division	齋藤正廣	SAITO Masahiro
就職支援課長	Chief, Employment Support Division	野内正	NOUCHI Tadashi
入試課長	Chief, Admissions Office	菅野芳昭	KANNO Yoshiaki
研究振興課長	Chief, Research Promotion Division	縣猛男	AGATA Takeo
地域連携課長	Chief, Regional Collaboration Division	高橋清典	TAKAHASHI Kiyonori
学術情報課長	Chief, Academic Information Division	大沼忠弘	ONUMA Tadahiro

経営協議会委員

MANAGEMENT COUNCIL

2016. 5. 1

学外委員			
阿部正	元福島学院大学長、福島学院大学短期大学部教授	ABE Tadashi	
伊藤泰夫	福島県企画調整部長	ITO Yasuo	
斎藤美幸	有限会社金水晶酒造店常務取締役	SAITO Miyuki	
清水潔	明治大学特任教授、元文部科学事務次官	SHIMIZU Kiyoshi	
田原博人	元福島大学監事・元宇都宮大学長	TABARA Hiroto	
富田孝志	元財団法人福島県文化振興事業団理事長、元福島県教育長	TOMITA Takashi	
早川信夫	NHK放送局解説委員室解説主幹	HAYAKAWA Nobuo	
林由美子	株式会社タカラ印刷取締役会長	HAYASHI Yumiko	
深澤秀樹	前株式会社福島キャノン代表取締役社長	FUKASAWA Hideki	
八島洋一	福島市総務部長	YASHIMA Yoichi	
渡邊博美	福島ヤクルト販売株式会社代表取締役会長、福島商工会議所会頭	WATANABE Hiromi	
学内委員			
中井勝己	学長	NAKAI Katsumi	
中田スウラ	理事・副学長(総務担当)	NAKATA Sura	
三浦浩喜	理事・副学長(教育・学生担当)、総合教育研究センター長	MIURA Hiroki	
小沢喜仁	理事・副学長(研究・地域連携担当)、統括学系長、地域創造支援センター長	OZAWA Yoshihito	
若井祐次	理事(財務・財務戦略・施設・基金担当)、事務局長	WAKAI Yuji	
千葉養伍	人間発達文化学類長	CHIBA Yogo	
久我和巳	行政政策学類長	KUGA Kazumi	
阿部高樹	経済経営学類長	ABE Takaki	
二見亮弘	共生システム理工学類長	FUTAMI Ryoko	

教育研究評議会評議員

EDUCATION AND RESEARCH COUNCIL

2016. 5. 1

中井勝己	学長	NAKAI Katsumi
中田スウラ	理事・副学長(総務担当)	NAKATA Sura
三浦浩喜	理事・副学長(教育・学生担当)、総合教育研究センター長	MIURA Hiroki
小沢喜仁	理事・副学長(研究・地域連携担当)、統括学系長、地域創造支援センター長	OZAWA Yoshihito
若井祐次	理事(財務・財務戦略・施設・基金担当)、事務局長	WAKAI Yuji
真田哲也	副学長(広報・入試・就職・グローバル化担当)、国際交流センター長、アドミッションセンター長	SANADA Tetsuya
千葉悦子	副学長(学術情報・大学間連携担当)、附属図書館長、総合情報処理センター長	CHIBA Etsuko
千葉養伍	人間発達文化学類長	CHIBA Yogo
久我和巳	行政政策学類長	KUGA Kazumi
阿部高樹	経済経営学類長	ABE Takaki
二見亮弘	共生システム理工学類長	FUTAMI Ryoko
朝賀俊彦	人間発達文化学類	ASAKA Toshihiko
谷雅泰	人間発達文化学類	TANI Masayasu
田村奈保子	行政政策学類	TAMURA Nahoko
鈴木典夫	行政政策学類	SUZUKI Norio
伊藤宏	経済経営学類	ITO Hiroshi
佐野孝治	経済経営学類	SANO Koji
佐藤理夫	共生システム理工学類	SATO Michio
山口克彦	共生システム理工学類	YAMAGUCHI Katsuhiko
初澤敏生	うつくしまふくしま未来支援センター長	HATSUZAWA Toshio
難波謙二	環境放射能研究所長	NANBA Kenji

収入・支出決算額(平成27年度)

※金額は表示単位未満切捨てのため、必ずしも合計は一致しない。

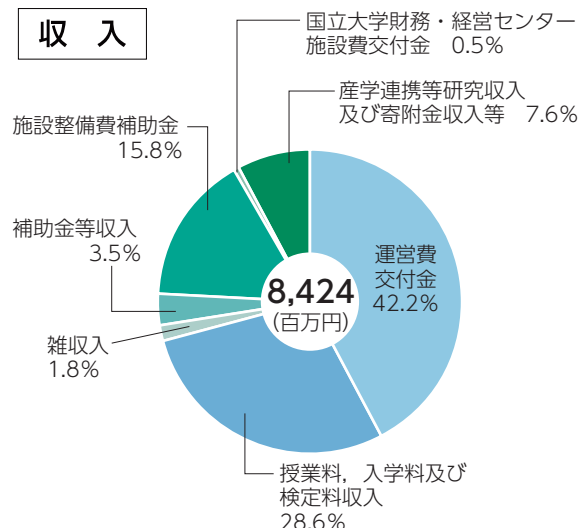
CLOSING ACCOUNTS : REVENUE AND EXPENDITURE 2015

収 入 REVENUE

(百万円)

区 分 Division of Revenue	[27年度] Amount [2015]	[26年度] (参考) Amount [2014] (Ref.)
運 営 費 交 付 金 Total Grant for Management Expense	3,558	3,750
授業料, 入学科及び検定料収入 Tuition and Examination Fees	2,411	2,362
財 産 処 分 収 入 Income earned through Disposition of Property	—	20
雑 収 入 Miscellaneous Income	148	152
補 助 金 等 収 入 Subsidy Income	290	1,755
施 設 整 備 費 補 助 金 Subsidies for Maintenance of University Facilities	1,332	1,628
国立大学財務・経営センター施設費交付金 Grant-in-Aid from the CUFM (Center for National University Finance and Management) for facilities maintenance	40	30
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 Income from Industry-University Cooperative Research and Donations	642	461
引 当 金 取 崩 Reserve Fund Reversal	—	—
目 的 積 立 金 取 崩 Purpose Reserve Fund Reversal	—	—
合 計 Total	8,424	10,161

収 入

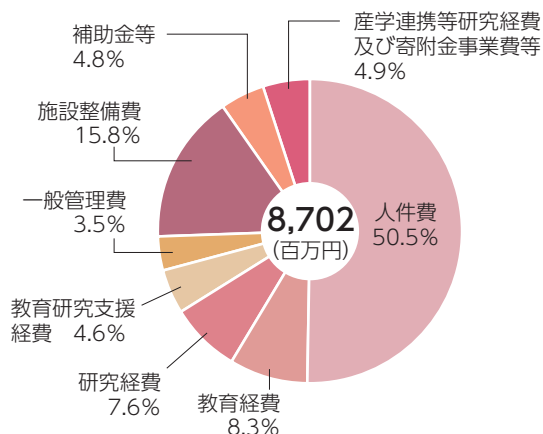


支 出 EXPENDITURE

(百万円)

区 分 Division of Expenditure	[27年度] Amount [2015]	[26年度] (参考) Amount [2014] (Ref.)
人 件 費 Personal Expenses	4,394	4,233
教 育 経 費 Education Expenses	720	891
研 究 経 費 Research Expenses	660	714
教 育 研 究 支 援 経 費 Expenses for Supporting Education and Research	405	161
一 般 管 理 費 Administrative Expenses	305	313
施 設 整 備 費 Supplies and Equipment Cost	1,372	1,658
補 助 金 等 Subsidy	419	1,716
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 Budget for Industry-University Cooperative Research and Funding	423	440
国立大学財務・経営センター施設費納付金 Payment to the CUFM (Center for National University Finance and Management) for facilities maintenance	—	9
合 計 Total	8,702	10,139

支 出

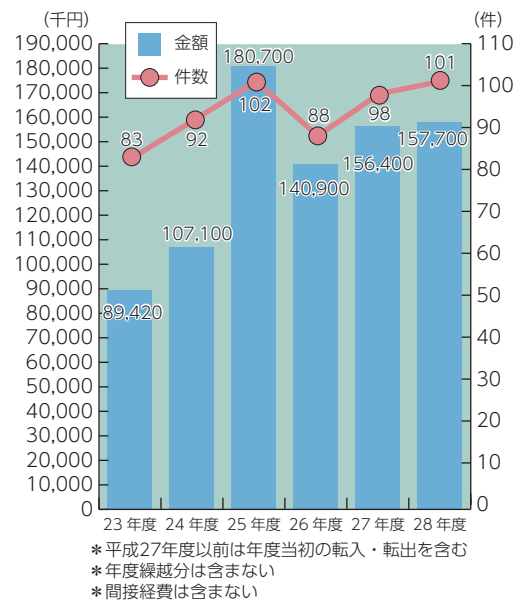


科学研究費助成事業

GRANT-IN-AID FOR SCIENTIFIC RESEARCH

平成28年度 Fiscal Year 2016

研究種目 Research Category	件数 Number	直接経費(千円) Direct Expenses (in thousand yen)	間接経費(千円) Indirect Expenses (in thousand yen)
新学術領域研究 Grant-in-Aid for Scientific Research on Innovative Areas	1	1,400	420
基盤研究(S) Scientific Research (S)	1	24,000	7,200
基盤研究(A) Scientific Research (A)	0	0	0
基盤研究(B) Scientific Research (B)	11	41,100	12,330
基盤研究(C) Scientific Research (C)	50	50,000	15,000
挑戦的萌芽研究 Challenging Exploratory Research	6	4,600	1,380
若手研究(A) Young Scientists (A)	3	12,000	3,600
若手研究(B) Young Scientists (B)	25	20,300	6,090
研究活動スタート支援 Research Activity Start-up	2	2,000	600
研究成果公開促進費(学術図書) Publication of Scientific Research Results (Scientific Literature)	0	0	0
特別研究員奨励費 Grant-in-Aid for JSPS Fellows	2	2,300	420
合計 Total	101	157,700	47,040

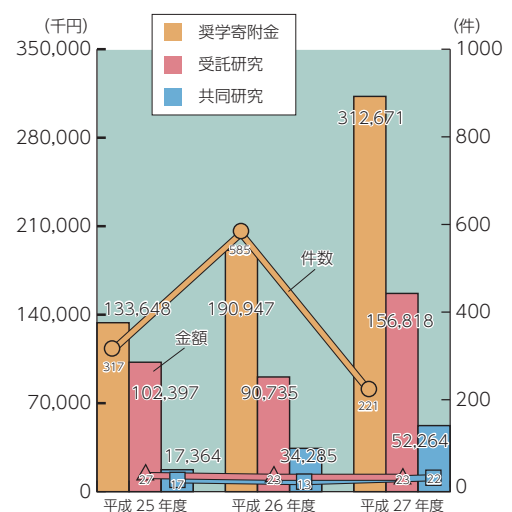


外部資金

FUNDS FROM OTHER SOURCES

平成27年度 Fiscal Year 2015

研究種目 Subject for Research	件数 Number	金額(千円) Amount
奨学寄附金 Grants and Endowments	221	312,671
受託研究 Contract Research	23	156,818
共同研究 Cooperative Research	22	52,264
合計 Total	266	521,753



役職員数

NUMBER OF EXECUTIVES, FACULTY AND STAFF

2016.5.1

区 分 Division	職 種 Job Classification	役 員 Directors			教授 Professors	准教授 Associate Professors	講師 Lecturers	助教 Assistant Professors	助手 Instructors	計 Sub Total	附属学校教員 Teachers of Special School	事務系職員 Administration Officers	合計 Total
		学長 President	理事・副学長 Vice President	監事 Auditor									
現 員 Number of Regular Staff		1	4	2* ¹	128	93	6	1		235	83	127	445
役 員 Number of Present Staff		1	4	2* ¹						7			7
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture					42	24	1			67			67
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences					24	20	1			45			45
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration					28	21		1		50			50
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science					26	21	2			49			49
附属図書館 University Library													0
保健管理センター Healthcare Center					2					2			2
地域創造支援センター Center for Regional Affairs						1				1			1
総合情報処理センター Information Network Center						1				1			1
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education					3	3				6			6
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization													0
国際交流センター International Center													0
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity					2	2	2			6			6
農学系教育研究組織設置準備室 Preparation Office for Formation of Agricultural Education and Research Organization					1					1			1
附属幼稚園 Kindergarten											4		4
附属小学校 Elementary School											29		29
附属中学校 Junior High School											22		22
附属特別支援学校 Special Needs Education School											28		28
事務局 Administration Bureau												127* ²	127

* 1 監事は非常勤

* 2 各部局等に配置される職員を含む

入学志願者及び入学者

NUMBER OF APPLICANTS AND ENROLLED STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES

2016.5.1

学群・学類 Cluster・Faculty	年度 Year	28 2016
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	入学志願者 Number of Applicants 1,429
		入 学 者 Number of Students Admitted 288
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	入学志願者 Number of Applicants 958
		入 学 者 Number of Students Admitted 219
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	入学志願者 Number of Applicants 639
		入 学 者 Number of Students Admitted 234
	夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	入学志願者 Number of Applicants 135
		入 学 者 Number of Students Admitted 66
	計 Sub Total	入学志願者 Number of Applicants 3,161
		入 学 者 Number of Students Admitted 807
理工学群 Cluster of Science and Technology	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	入学志願者 Number of Applicants 914
		入 学 者 Number of Students Admitted 194
	計 Sub Total	入学志願者 Number of Applicants 914
		入 学 者 Number of Students Admitted 194
合 計 Total	入学志願者 Number of Applicants	4,075
	入 学 者 Number of Students Admitted	1,001

大学院(修士課程及び博士前期課程) GRADUATE SCHOOL

2016.5.1

研究科 Graduate School	年度 Year	24 2012	25 2013	26 2014	27 2015	28 2016
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	入学志願者 Number of Applicants	73	70	72	65	59
	入 学 者 Number of Students Admitted	43	45	42	41	38
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional Administration	入学志願者 Number of Applicants	22	22	16	9	7
	入 学 者 Number of Students Admitted	20	15	10	8	7
経済学研究科 Economics	入学志願者 Number of Applicants	27	21	18	34	25
	入 学 者 Number of Students Admitted	16	16	10	27	15
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	4月期入学 入学志願者 Number of Applicants	60	52	31	44	43
	入 学 者 Number of Students Admitted	47	41	28	40	35
	10月期入学 入学志願者 Number of Applicants	5	2	0	1	
	入 学 者 Number of Students Admitted	4	2	0	1	
合 計 Total	入学志願者 Number of Applicants	182	170	139	152	135
	入 学 者 Number of Students Admitted	126	121	92	116	96

※ 10月期入学は翌年度に計上

大学院(博士後期課程) GRADUATE SCHOOL

2016.5.1

研究科 Graduate School	年度 Year	24 2012	25 2013	26 2014	27 2015	28 2016
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	入学志願者 Number of Applicants	9	11	4	3	5
	入 学 者 Number of Students Admitted	7	8	4	3	5
合 計 Total	入学志願者 Number of Applicants	9	11	4	3	5
	入 学 者 Number of Students Admitted	7	8	4	3	5

※ 編入学・学士入学は除く。

※ 外国人留学生を含む。

学生の定員及び現員

NUMBER OF STUDENTS

学群・学類 UNDERGRADUATES

2016.5.1

区 分 Classification 学群・学類 Cluster・Faculty	課程及び学科 Course or Department	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現 員 Present Number of Students					合 計 Total
				1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year		
人 文 社 会 学 群 Cluster of Human and Social Sciences		765 ⑩	3,060 ⑥⑨	408 399	438 359	462 384	536 448	1,844 1,590	3,434
人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture		270 ⑩	1,080 ②⑩	108 180	117 172	131 177	137 216	493 745	1,238
行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences		210 ⑩	840 ②⑩	114 105	131 95	126 99	152 118	523 417	940
経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration		225 ⑩	900 ②⑩	148 86	161 69	162 81	201 76	672 312	984
夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society		60	240	38 28	29 23	43 27	46 38	156 116	272
理 工 学 群 Cluster of Science and Technology		180	720	153 41	152 32	161 34	182 45	648 152	800
共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science		180	720	153 41	152 32	161 34	182 45	648 152	800
合 計 Total		945 ⑩	3,780 ⑥⑨	561 440	590 391	623 418	718 493	2,492 1,742	4,234

※ 平成16.10全学再編により、教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組、理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17.4学生受入)。
 ※ ○は3年次編入学生定員で外数(人文社会学群：平成19.4～)。
 ※ 平成24年度から教育学部・行政社会学部・経済学部は在籍している学生がいらない為、廃止。
 ※ 黒文字は男子、赤文字は女子。

大学院(修士課程・博士課程) GRADUATE SCHOOLS

2016.5.1

研究科名 Graduate School	専攻名 Majors	課程名 Course	入学定員 Annual Quota for New Applicants	収容定員 Standard Student Capacity	現員 Present Number of Students
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	教職教育専攻 Teacher Development	修士課程 Master	11	22	14 17
	地域文化創造専攻 Creation of Regional Culture	修士課程 Master	20	40	16 14
	学校臨床心理専攻 School and clinical Psychology	修士課程 Master	9	18	6 17
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional administration	地域政策科学専攻 Public Policy and Region Administration	修士課程 Master	20	40	18 8
経済学研究科 Economics	経済学専攻 Economics	修士課程 Master	10	20	17 1
	経営学専攻 Business Administration	修士課程 Master	12	24	23 5
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	共生システム理工学専攻 Symbiotic Systems Science and Technology	博士前期課程 Master	60	120	69 11
		博士後期課程 Doctor	6	18	17 4
合 計 Total			148	302	180 77

※ 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がいらない為、廃止。
 ※ 黒文字は男子、赤文字は女子。
 ※ 経済学研究科の入学定員：平成25年度まで経済学専攻12名、経営学専攻10名。

卒業生数及び修了生数

NUMBER OF GRADUATES

学群・学類 UNDERGRADUATES

2016.5.1

区 分 Classification 学群・学類 Cluster・Faculty	課程及び学科 Course or Department	H20～ H22 2008～ 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	計 Total
人文社会学群 Cluster of Human and Social Sciences		2,353	829	816	811	793	798	6,400
学群・学類 Cluster・Faculty	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	862	282	285	286	271	281	2,267
	人間発達専攻 Human Development	391	122	120	116	114	123	986
	文化探究専攻 Cultural Exploration	287	108	103	109	98	100	805
	スポーツ・芸術創造専攻 Sports and Arts	184	52	62	61	59	58	476
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	654	230	229	227	234	227	1,801
	法学専攻 Law	217	88	59	80	90	61	595
	地域と行政専攻 Community Management	305	104	141	109	104	106	869
	社会と文化専攻 Social and Cultural Studies	132	38	29	38	40	60	337
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	671	255	247	235	224	244	1,876
	経済分析専攻 Economic Analysis	97	41	46	44	45	54	327
	国際地域経済専攻 International and Regional Economy	222	101	107	68	85	94	677
	企業経営専攻 Business Administration	352	113	94	123	94	96	872
	夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	166	62	55	63	64	46	456
	文化教養モデル Culture and Liberal Arts	36	14	8	22	15	8	103
	法政策モデル Law and Policy	32	8	11	6	9	5	71
	コミュニティ共生モデル Community Building and Preservation	38	20	19	18	17	26	138
	ビジネス探究モデル Business	60	20	17	17	23	7	144
	理工学群 Cluster of Science and Technology	498	191	187	167	169	161	1,373
	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	498	191	187	167	169	161	1,373
	人間支援システム専攻 Human Support System	160	63	68	55	65	60	471
	産業システム工学専攻 Industrial System	177	77	68	63	57	51	493
	環境システムマネジメント専攻 Environmental System Management	161	51	51	49	47	50	409
合 計 Total		2,851	1,020	1,003	978	962	959	7,773

※ 平成16.10全学再編により、教育学部・行政社会学部・経済学部を人文社会学群(人間発達文化学類・行政政策学類・経済経営学類)に改組、理工学群(共生システム理工学類)を新設(平成17. 4学生受入)

大 学 院 GRADUATE SCHOOL

2016.5.1

科・課程 Course	修了年度 Year	S52～H21 1977～2009	H22 2010	H23 2011	H24 2012	H25 2013	H26 2014	H27 2015	計 Total
人間発達文化研究科 Human Development and Culture	修士課程 Master		40	38	37	36	42	40	233
教育学研究科 Education	修士課程 Master	710	6	3					719
地域政策科学研究科 Public Policy and Regional administration	修士課程 Master	213	15	18	13	13	10	9	291
経済学研究科 Economics	修士課程 Master	288	17	15	16	19	13	10	378
共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science and Technology	修士課程 Master	22	57	5		1			85
	博士前期課程 Master			44	45	40	45	24	198
	博士後期課程 Doctor				3	4	4	2	13
合 計 Total		1,233	135	123	114	113	114	85	1,917

※ 教育学研究科は、平成24年度から在籍している学生がいない為、廃止

区 分 Classification		課程及び学科 Course or Department	S25～H23 1950～2011 計 Total
学部 Faculty			
教育学部 Faculty Education			21,264 ※1
	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course		9,338 ※2
	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course		5,222 ※2
	養護学校教員養成課程 Teachers Course for Mentally and Physically Handicapped Children		485 ※2
	幼稚園教員養成課程 Kindergarten Teachers Course		590 ※2
	生涯教育課程 Department of Lifelong Education		835 ※3
	学校教育教員養成課程 Department of Teacher Training		1,337
	特別教科(理科)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Science Education)		601
	特別教科(保健体育)教員養成課程 Senior High School Teachers Course (Physical Education)		1,188
	その他 Others		7
2年課程 Two Year Courses	小学校教員養成課程 Elementary School Teachers Course		1,004 ※4
	中学校教員養成課程 Junior High School Teachers Course		657 ※4
行政社会学部 Faculty of Administration and Social Sciences			4,554 ※1
昼間主コース Daytime-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department		2,469
	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department		1,058
夜間主コース Evening-centered Courses	行政学科 Law and Administration Department		620
	応用社会学科 Sociology and Social Sciences Department		407
経済学部 Faculty of Economics			15,353 ※1
昼間主コース Daytime-centered Courses	経済学科 Economics Department		6,211 ※5
	経営学科 Business Administration Department		4,197 ※5
	現代経済課程 Contemporary Economics Course		838
	企業経営課程 Business Management Course		1,206
	国際経済社会課程 International Economics and Society Course		599
	産業情報工学課程 Industrial Economics Engineering Course		151
夜間主コース Evening-centered Courses	経済学科 Economics Department		919 ※5
	経営学科 Business Administration Department		717 ※5
	現代経済課程 Contemporary Economics Course		205
	企業経営課程 Business Management Course		310
短大 Junior College	経営学科 Business Administration Department		2,116 ※6
合 計 Total			43,287

- ※1 教育学部、行政社会学部、経済学部は平成17年度から学生募集停止
 ※2 小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、養護学校教員養成課程、幼稚園教員養成課程は平成11年度から学生募集停止
 ※3 生涯教育課程は平成7年4月設置
 ※4 2年課程は昭和33年度から学生募集停止
 ※5 経済学部経済学科、経営学科は平成8年度から学生募集停止
 ※6 短大は昭和55年3月廃止

専攻科 ONE-YEAR GRADUATE PROGRAM

専攻 Course	修了年度 Year	S31～H3 1956～1991
		計 Total
教育専攻科 Education	保健体育専攻 Physical Education	30
	教育専攻 Pedagogy	8
	理科専攻 Science Education	19
経済学専攻科 Economics	経理経営専攻 Accounting and Management	24

卒業生就職状況(平成27年度)

EMPLOYMENT AFTER GRADUATION

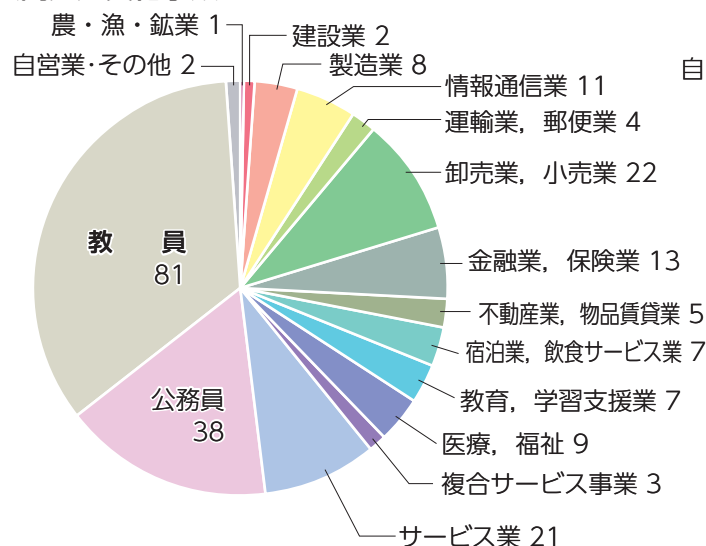
2016.5.1

学類 Faculty 区分 Classification	人間発達 文化学類 Faculty of Human Development and Culture	計 Sub Total	行政政策 学類 Faculty of Administration and Social Sciences	計 Sub Total	経済経営 学類 Faculty of Economics and Business Administration	計 Sub Total	夜間主コース (現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	計 Sub Total	共生システム 理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	計 Sub Total	合 計 Total	
卒業 Total Graduates	109 172	281	120 107	227	173 71	244	23 23	46	129 32	161	554 405	959
就職 Total Employed	88 146	234	96 95	191	150 68	218	19 14	33	88 20	108	441 343	784
農・漁・鉱業 Agriculture・Fishing・Mining Industries	1 0	1	0 0	0	0 0	0	0 0	0	0 0	0	1 0	1
建設業 Construction	2 0	2	0 3	3	2 2	4	1 1	2	2 0	2	7 6	13
製造業 Manufacturing	3 5	8	1 7	8	9 2	11	0 1	1	16 4	20	29 19	48
電気・ガス・水道業 Public Services	0 0	0	0 0	0	4 0	4	2 0	2	1 0	1	7 0	7
情報通信業 Communication	5 6	11	7 4	11	16 4	20	1 2	3	20 0	20	49 16	65
運輸業、郵便業 Transportation, Postal Service	2 2	4	6 2	8	4 0	4	0 0	0	2 1	3	14 5	19
卸売業、小売業 Retail	10 12	22	7 9	16	26 12	38	6 4	10	5 3	8	54 40	94
金融業、保険業 Banking, Insurance	4 9	13	8 8	16	22 23	45	4 1	5	3 0	3	41 41	82
不動産業、物品賃貸業 Real Estate, Rental Services	1 4	5	2 0	2	4 2	6	0 1	1	2 1	3	9 8	17
宿泊業、飲食サービス業 Accommodation, Food Services	1 6	7	1 1	2	1 1	2	0 0	0	0 0	0	3 8	11
教育、学習支援業 Education, Learning Support	2 5	7	2 7	9	5 0	5	1 0	1	2 0	2	12 12	24
医療、福祉 Medical, Welfare	4 5	9	2 4	6	2 3	5	2 2	4	1 0	1	11 14	25
複合サービス事業 Service-sector Corporations	1 2	3	2 2	4	4 3	7	1 0	1	2 1	3	10 8	18
サービス業 Service Industry	9 12	21	10 10	20	14 6	20	1 2	3	4 1	5	38 31	69
公務員 Public Services	11 27	38	48 37	85	35 9	44	0 0	0	23 5	28	115 78	195
教員 Teaching	31 50	81	0 0	0	1 1	2	0 0	0	5 4	9	37 55	92
自営業・その他 Self-Employment・Others	1 1	2	0 1	1	1 0	1	0 0	0	0 0	0	2 2	4
未定 Undetermined	0 1	1	4 3	7	6 0	6	0 3	3	4 1	5	14 8	22
進学者等 Furthering Studies	7 14	21	6 0	6	4 1	5	1 0	1	31 9	40	49 24	73
公務員等希望者 Preparing for Civil Exams	11 7	18	14 7	21	12 0	12	2 0	2	6 2	8	45 16	61
有職者 Already Employed	0 0	0	0 0	0	0 0	0	1 3	4	0 0	0	1 3	4
その他 Others	3 4	7	0 2	2	1 2	3	0 3	3	0 0	0	4 11	15
就職率(%) Total Employment Rate	100.0% 99.3%	99.6%	96.0% 96.9%	96.5%	96.2% 100.0%	97.3%	100.0% 82.4%	91.7%	95.7% 95.2%	95.6%	96.9% 97.7%	97.3%

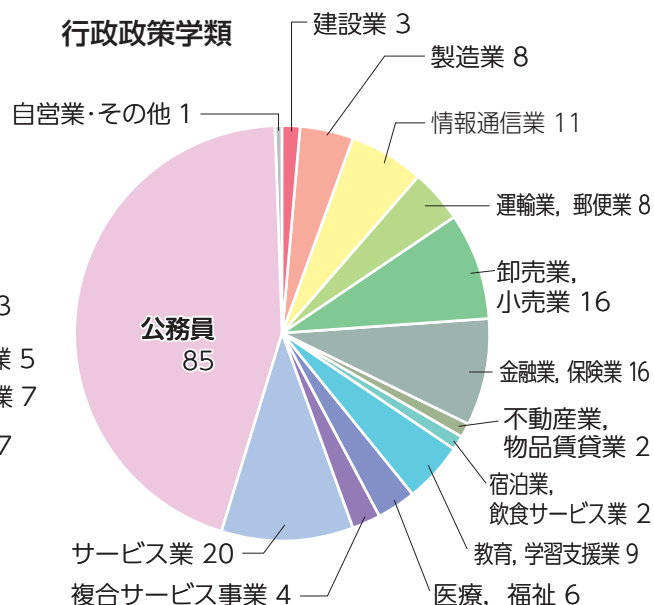
※ 上段(黒)は男子、下段(赤)は女子。

※ 就職率(%) = 就職者 ÷ 就職希望者(就職者+未定)

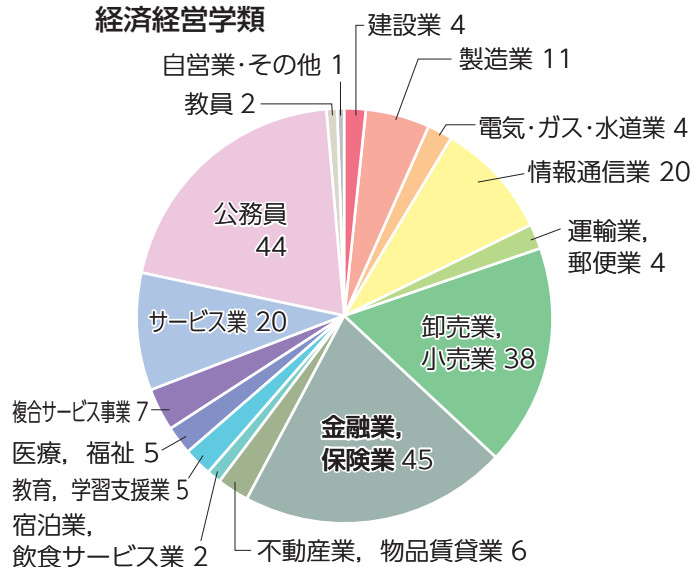
人間発達文化学類



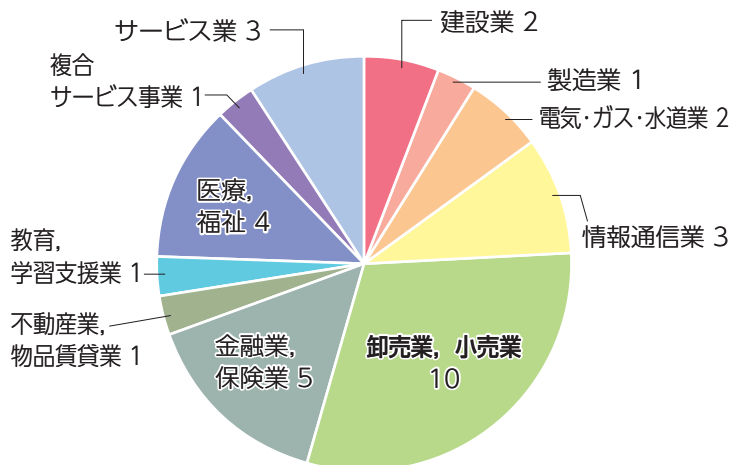
行政政策学類



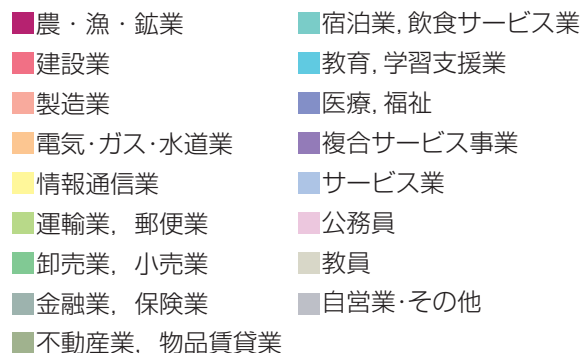
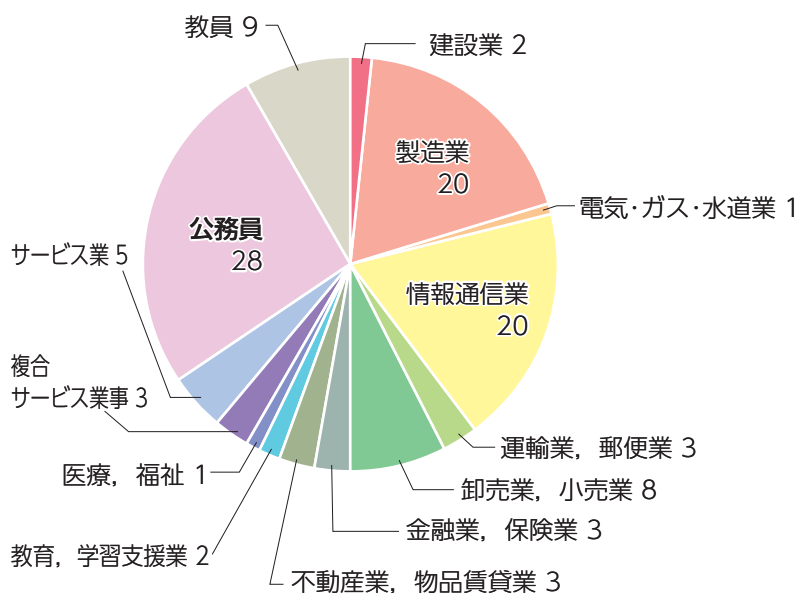
経済経営学類



夜間主コース（現代教養コース）



共生システム理工学類



外国人留学生数

NUMBER OF INTERNATIONAL STUDENTS

留学生数局別内訳 FACULTIES

2016.5.1

区分 Classification 学類・大学院 Faculty・Graduate School	学類 Undergraduate School		大 学 院 Graduate School		計 Total
	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	
人間発達文化学類・人間発達文化研究科 Human Development and Culture	2	1	3	1(1)	7(1)
行政政策学類・地域政策科学研究科 Administration and Social Sciences・ Public Policy and Regional Administration	4	0	5	0	9
経済経営学類・経済学研究科 Economics and Business Administration・ Economics	22	3	1	0	26
共生システム理工学類・共生システム理工学研究科 Symbiotic Systems Science・ Symbiotic Systems Science and Technology	15	1	(博士前期)3(1) (博士後期)2	5	26(1)
計 Total	43	5	14(1)	6(1)	68(2)

国別留学生数 NATIONALITIES

2016.5.1

区分 Classification 国・地域 Nation・Region	学類 Undergraduate School		大 学 院 Graduate School		計 Total
	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	正 規 生 Students	研究生等 Research Students	
中華人民共和国 People's Republic of China	21	0	7	0	28
韓 国 Republic of Korea	1	0	1	0	2
台 湾 Taiwan	1	0	0	0	1
モンゴル Mongolia	0	0	4	0	4
ベトナム Socialist Republic of Vietnam	20	1	1	0	22
ロ シ ア Russian Federation	0	1	0	0	1
ド イ ツ Federal Republic of Germany	0	2	0	0	2
ガ ー ナ Republic of Ghana	0	0	0	1(1)	1(1)
アメリカ United States of America	0	0	0	5	5
ブラジル Federative Republic of Brazil	0	1	0	0	1
フィジー Republic of Fiji	0	0	1(1)	0	1(1)
計 Total	43	5	14(1)	6(1)	68(2)

※ 赤文字()は国費留学生で内数
※ 留学生数は在留資格が「留学」の者を計上

奨 学 生

SCHOLARSHIP STUDENTS

2016.5.1

区 分 Classification 学類・大学院 Faculty・Graduate School		対象学生数 Number of Eligible Applicants	日本学生支援機構奨学生 Japan Student Services Organization				その他の 奨学生 Other Scholarship
			第1種 Loan 1	第2種 Loan 2	計 Total	比率(%) Ratio	
人文社会 学群	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	897	217	218	435	48.5	15
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	686	183	159	342	49.9	7
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	712	210	171	381	53.5	9
	夜間主コース(現代教養コース) Course of Liberal Arts for Modern Society	189	65	31	96	50.8	6
理工 学群	共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science	565	155	135	290	51.3	5
大 学 院 Graduate School		116	26	5	31	26.7	
合 計 Total		3,165	856	719	1,575	49.8	42

※基準日現在、1年生は未決定のため除く。

附属学校の定員及び現員

OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS

2016.5.1

区分 Classification 学校別 School	入学(園)定員 Applicant Capacity	総定員 Student Capacity	現 員 Present Number						合 計 Total	
			1 年 1st year	2 年 2nd year	3 年 3rd year	4 年 4th year	5 年 5th year	6 年 6th year		
附 属 幼 稚 園 Kindergarten	30	90	3才児 14	3 year olds 9	4才児 9	4 year olds 5	5才児 11	5 year olds 6	34 20	54
附 属 小 学 校 Elementary School	105	645	53 52	58 44	53 51	38 66	42 53	54 49	298 315	613
附 属 中 学 校 Junior High School	140	420	68 72	71 68	67 74				206 214	420
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School	17	60	11 2	11 5	9 8	1 1	2 1	1 1	35 18	53
小 学 部 1-6	3	18	1 1	2 0	2 1	1 1	2 1	1 1	9 5	14
中 学 部 7-9	6	18	4 0	4 2	3 3				11 5	16
高 等 部 10-12	8	24	6 1	5 3	4 4				15 8	23
合 計 Total	292	1,215							573 567	1,140

※ 附属特別支援学校小学部は、1・2年、3・4年、5・6年で各1学級 計3学級
※ 黒文字は男子、赤文字は女子。



附属幼稚園
Kindergarten



附属小学校
Elementary School



附属中学校
Junior High School



附属特別支援学校
Special Needs Education School

国際交流会館

INTERNATIONAL HOUSE

2016.5.1

名 称 Room	1 室当り面積 (㎡) Area	部屋数 Number of Rooms
単 身 室 Studio	12	38
夫 婦 室 One-Bedroom	35	5
家 族 室 Two-Bedroom	52	2
多 目 的 ホール Multipurpose Hall	112	1
和 室 Japanese Room	24	1
ランドリー・ルーム Laundry Room	14	2
談 話 室 Lounge	14	2
事 務 室 Office	19	1

※ 単身室は主に留学生用、夫婦室・家族室は研究者用。



国際交流会館
International House



多目的ホール
Multipurpose Hall

学 生 寮

DORMITORIES

2016.5.1

寮 名 Name	如月寮 Kisaragi Dormitory	信夫寮 Shinobu Dormitory	葵 寮 Aoi Dormitory
構 造・面 積 Structure・Area	R 5 F 3,466㎡	R 4 F 2,701㎡	R 4 F 2,654㎡
収 容 対 象 Occupants	男子学生 Male	男子学生 Male	女子学生 Female
室 Bedrooms	200	150	150
収 容 可 能 人 員 Capacity	200	150	150
現 員 Present Occupancy	194	147	147



学 生 寮
Dormitories

大学会館

UNIVERSITY HALL

2016.5.1

	施 設 名 Facilities	面積(㎡) Area	席・畳数 Capacity
1 階 (1F)	大 食 堂 Large Cafeteria	1,046	832席
	売 店 Shop	294	
2 階 (2F)	レ ス ト ラ ン Restaurant	186	80席
	ロ ッ ビ ー Lobby	98	
	統 サ 室 Circle Room	22	

	施 設 名 Facilities	面積(㎡) Area	席・畳数 Capacity
2 階 (2F)	大 集 会 室 Large Assembly Hall	270	250席
	小 集 会 室 Small Assembly Hall	35	32席
	//	46	32席
	//	32	32席
	和 室 Japanese Room	35	12畳
	学 生 総 合 相 談 室 Student Counseling Office	35	
	学 生 総 合 相 談 室 分 室 Student General Consultation Room Branch Office	18	
	厨 房・そ の 他 Kitchen and Others	999	



大学会館
University Refectory



大 食 堂
Large Cafeteria

土地・建物面積

PROPERTIES

2016.5.1

部 局 等 Division	土地 (㎡) Land	建物 (延㎡) Building	備 考 Location
事務局・学類・附属図書館 Head Office・Faculties・Library	432,894	85,855	金谷川 Kanayagawa
附 属 小 学 校 Elementary School	18,804	9,018	新浜町 Shinhamacho
附 属 中 学 校 Junior High School	34,808	6,177	浜田町 Hamada-cho
附 属 特 別 支 援 学 校 Special Needs Education School	12,032	4,307	八木田 Yagita
附 属 幼 稚 園 Kindergarten	5,033	615	浜田町 Hamada-cho
国 際 交 流 会 館 International House	5,439	1,412	舟場町 Funaba-cho
街なかランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA		402	
山 の 家 Mountain Lodge	5,932	419	高 湯 Takayu
如 春 荘 Joshunso	1,249	273	森 合 Moriai
艇 庫 Boathouse	997	342	木 幡 Kohata
桜 木 町 住 宅 Sakuragicho Accommodation	2,185	1,461	桜木町 Sakuragi-cho
野 田 住 宅 Noda Accommodation	8,769	4,675	野田町 Noda-machi
松 浪 住 宅 Matsunami Accommodation	1,753	1,338	松浪町 Matsunami-cho
そ の 他 Others	1,708	0	
計 Total	531,603	116,294	

金谷川団地屋外体育施設の現況 OUTDOOR SPORTS FACILITIES

名 称 Name	内 容 Area
陸 上 競 技 場 Athletic Field	400mトラック(第4種公認)全天候 1面
バ レ ー コ ー ト Volleyball Courts	(夜間照明) 5面
テ ニ ス コ ー ト Tennis Courts	(一部全天候・夜間照明) 10面
プ ー ル Swimming Pool	9コース 50m(公認) 1基
ハ ン ド ボ ー ル コ ー ト Handball Field	1面
野 球 場 Baseball Field	両翼90m、中堅100m (夜間照明) 1面
サ ッ カ ー ・ ラ グ ビ ー 場 Football Field	(夜間照明) 1面
ゴ ル フ 練 習 場 Golf Field	9打席 1面
馬 場 Riding Ground	1面

金谷川団地建物の現況 CAMPUS FACILITIES

名 称 Name	構 造 Structure	延面積 (㎡) Space
人間発達文化学類棟 Faculty of Human Development and Culture-Bldg.	SR7F	5,979
行政政策学類棟 Faculty of Administration and Social Sciences-Bldg.	SR8F	5,690
経済経営学類棟 Faculty of Economics and Business Administration-Bldg.	SR8F	6,710
共生システム理工学類棟 Faculty of Symbiotic Systems Science-Bldg.	SR7F	5,855
附属図書館 University Library	R3F・4F	10,582
保健管理センター Healthcare Center	R2F	441
総合情報処理センター Information Network Center	R3F	2,204
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education	R4F	1,995
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center for Regional Revitalization	R5F	2,530
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity	S2F	1,360
本部管理棟 Headquarters	R4F	2,440
学生活動センター Building for Student Council	S2F	229
講 義 棟 (L棟) Lecture Halls	R1F	1,515
// (M棟)	R3F	2,843
// (S棟)	R4F	4,360
体 育 館 Gymnasium	RS1F・2F	2,652
第2体育館 2nd Gymnasium	RS2F	1,126
保健体育棟 Health and Physical Education Bldg.	R2F	924
音 楽 棟 Music Bldg.	R3F	1,190
美 術 棟 Fine Arts Bldg.	R2F	1,267
理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory	S7F	3,862
総合研究棟(理工系) SSS Research Laboratory	S7F	2,995
理工共通棟 SSS Technical Laboratory	R1F	404
共生システム理工学類後援募金記念棟 Memorial Laboratory of Supporters Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science	RC1F	334
ユニット棟 Temporary Administration Building	S2F	121
宇宙線観測室 Cosmic Rays Observatory	S1F	43
学生会館 University Refectory	R2F	3,184
文化系サークル棟 Building for Student Societies	R3F	885
体育系サークル棟 Varsity Building	R2F	710
更 衣 室 Locker Room	R1F	87
合宿研修施設 Training House	R1F	174
弓 道 場 (5人立) Archery Field	S1F	120
厩 舎 Stable	R1F	95
学生寮管理棟 Dormitory Administrative Office	R1F	260
// 如月寮 Kisaragi Dormitory	R5F	3,466
// 信夫寮 Shinobu Dormitory	R4F	2,701
// 葵 寮 Aoi Dormitory	R4F	2,654
警務員室 Security Office	R1F	34
西門警務員室 Security Office	R1F	10
車 庫 Garage	R1F	219
中央機械室 Power Supply Center	R2F	883
受水槽ポンプ室 Pump Room	R1F	130
中水処理施設 Sewage Disposal Plant	RS1F	116
そ の 他 Others		476
計 Total		85,855

建物配置図

CAMPUS MAP

金谷川団地 KANAYAGAWA CAMPUS



- | | |
|---|--|
| ① 警務員室 Security Office | ②② 体育館 Gymnasium |
| ② 保健管理センター Healthcare Center | ②③ 第2体育館 2nd Gymnasium |
| ③ 本部管理棟 Headquarters | ②④ 文化系サークル棟 Building for Student Societies |
| ④ 車庫 Garage | ②⑤ 体育系サークル棟 Varsity Building |
| ⑤ 中央機械室 Power Supply Center | ②⑥ 合宿研修施設 Training House |
| ⑥ 受水槽ポンプ室 Pump Room | ②⑦ 学生寮 Dormitories |
| ⑦ 行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences | ②⑧ 弓道場 Archery Field |
| ⑧ 経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration | ②⑨ 中水処理施設 Sewage Disposal Plant |
| ⑨ 総合情報処理センター Information Network Center | ③⑩ 宇宙線観測室 Cosmic Rays Observatory |
| ⑩ 学生活動センター Building for Student Council | ③⑪ 厩舎 Stable |
| ⑪ 附属図書館 Library | ③⑫ 温室・網室 Greenhouse and Cage |
| ⑫ 講義棟 Lecture Halls | ③⑬ 西門警務員室 Security Office |
| ⑬ 人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture | ③⑭ 更衣室 Locker Room |
| ⑭ 共生システム理工学類 Faculty of Symbiotic Systems Science | ③⑮ 総合研究棟(理工系) SSS Research Laboratory |
| ⑮ 理工学類研究実験棟 SSS Research Laboratory | ③⑯ 共生システム理工学類後援募金記念棟
Memorial Laboratory of Supporter's Fund for Faculty of Symbiotic Systems Science |
| ⑯ 総合教育研究センター Center for Research and Development of Education | ③⑰ ユニット棟
Temporary Administration Building |
| ⑰ 保健体育棟 Health and Physical Education Bldg. | ③⑱ うつくしまふくしま未来支援センター
Fukushima Future Center for Regional Revitalization |
| ⑱ 美術棟 Fine Arts Bldg. | ③⑲ 環境放射能研究所
Institute of Environmental Radioactivity |
| ⑲ 音楽棟 Music Bldg. | |
| ⑳ 理工共通棟 SSS Technical Laboratory | |
| ㉑ 大学会館 University Refectory | |



附属学校 OFF-CAMPUS K-12 SCHOOLS
附属小学校 Elementary School



- ① 小学校校舎(南校舎)
School Building (south school building)
- ② // (北校舎)
(north school building)
- ③ 小学校体育館
Gymnasium

附属中学校・附属幼稚園 Junior High School, Kindergarten



- ① 中学校校舎
Junior High School Building
- ② // 体育館
Gymnasium
- ③ 幼稚園園舎
Kindergarten
- ④ // 幼児教育センター
Early Childhood Education Center

附属特別支援学校 Special Needs Education School



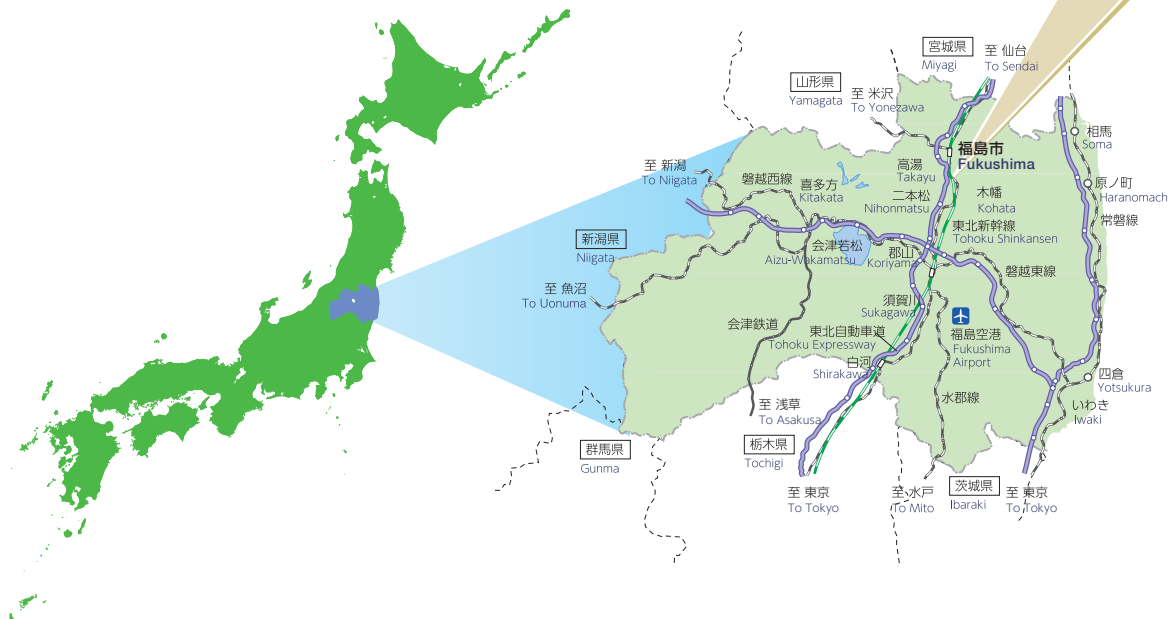
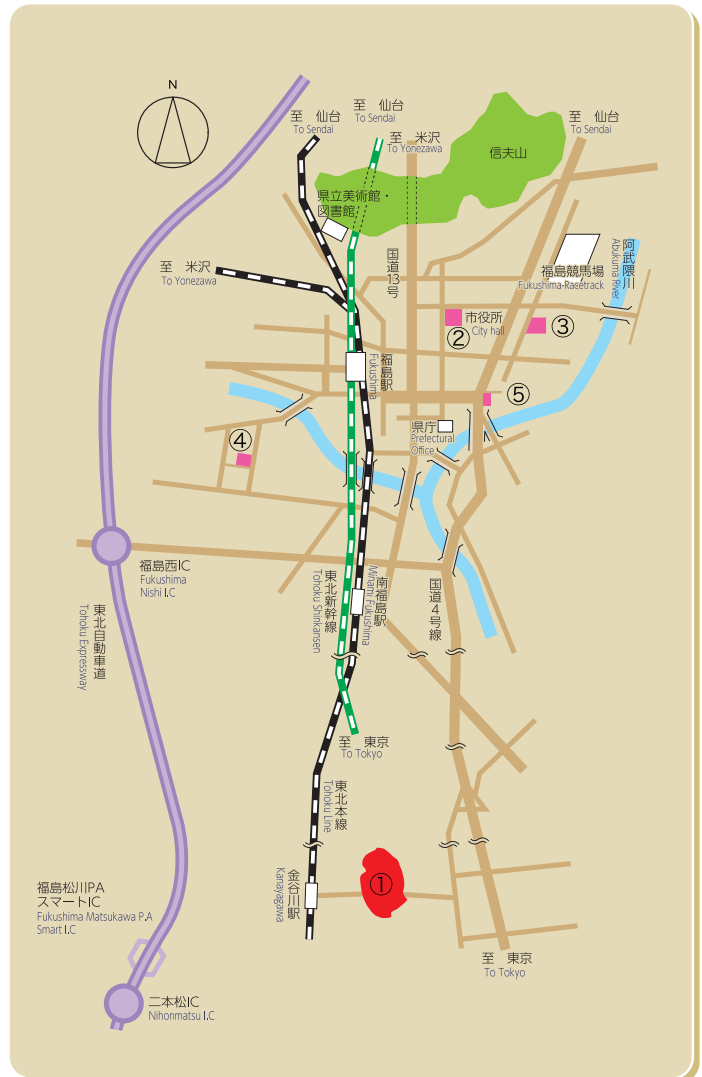
- ① 特別支援学校校舎(小学部)
School Building (1-6)
- ② // (中学部)
(7-9)
- ③ // (高等部)
(10-12)
- ④ // 体育館
Gymnasium
- ⑤ // 木工室
Woodworking Room
- ⑥ // 日常生活訓練施設
Training Facility

部局等の所在地案内図

LOCATION OF OFFICES

交通機関案内 TRANSPORTATION

- ① 福島大学 Fukushima University
JR東北本線「金谷川駅」下車徒歩10分
Take the Tohoku-Line from Fukushima Station to Kanayagawa Station, which takes about 10 minutes. Then about 10 minutes on foot.
- ② 附属小学校 Elementary School
福島交通福島駅東口バス発着所から市内循環1コース約10分、「附属小前」下車
Take the "Round 1" course bus at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fuzokusho". (It takes 10 minutes)
- ③ 附属中学校 Junior High School
附属幼稚園 Kindergarten
福島交通福島駅東口バス発着所から伊達・藤田・保原方面行乗車、約8分、「東高校前」下車徒歩5分
Take the bus for "Date・Fujita・Hobara" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Higashiko". It takes about 8 minutes, then 5 minutes on foot.
- ④ 附属特別支援学校 Special Needs Education School
福島交通福島駅東口バス発着所から荒井・土湯方面行乗車約15分、「福島ふそう前」下車徒歩5分
Take the bus for "Arai・Tsuchiyu" at the east side of Fukushima Station, and get off at "Fukushima-Fuso". It takes 15 minutes, then 5 minutes on foot.
- ⑤ 国際交流会館 International House
福島大学サテライト「街なかランチ舟場」
Fukushima University Satellite [Machinaka Branch FUNABA]



部局等の所在地及び電話番号

CONTACT ADDRESSES

2016.5.1

部 局 等 Division		電 話 番 号 Telephone	所 在 地 Address
人文社会科学群	人間発達文化学類 Faculty of Human Development and Culture	024-548-8103	〒960-1296 福島市金谷川1番地
	行政政策学類 Faculty of Administration and Social Sciences	024-548-8253	
	経済経営学類 Faculty of Economics and Business Administration	024-548-8353	
	理工学群 Faculty of Symbiotic Systems Science	024-548-5213	
附属図書館 University Library		024-548-8083	〒960-1293 福島市金谷川1番地
保健管理センター Healthcare Center		024-548-8068	〒960-1296 福島市金谷川1番地
地域創造支援センター Center for Regional Affairs		024-548-8012	
総合情報処理センター Information Network Center		024-548-8018	
総合教育研究センター Center for Research and Development of Education		024-548-8110	
うつくしまふくしま未来支援センター Fukushima Future Center For Regional Revitalization		024-504-2865	
国際交流センター International Center		024-503-3067	
環境放射能研究所 Institute of Environmental Radioactivity		024-504-2114	
事務局 Administration Bureau		学長室 024-548-5224 監査室 024-548-5193 総務課 024-548-8006 人事課 024-548-8007 財務課 024-548-8016 施設課 024-548-8021 教務課 024-548-8053 学生課 024-548-8061 就職支援課 024-548-8108 入試課 024-548-8064 研究振興課 024-548-8009 地域連携課 024-548-8012 学術情報課 024-548-8083	
如月寮 Kisaragi Dormitory	寮		〒960-1248 福島市金谷川5番地
信夫寮 Shinobu Dormitory	寮		
葵寮 Aoi Dormitory	寮		

※平成12年地名変更 金谷川←松川町浅川字直道

附属幼稚園 Kindergarten	024-534-7962	〒960-8107 福島市浜田町12番39号
附属小学校 Elementary School	024-534-6441	〒960-8022 福島市新浜町4番6号
附属中学校 Junior High School	024-534-6442	〒960-8107 福島市浜田町12番26号
附属特別支援学校 Special Needs Education School	024-546-0535	〒960-8164 福島市八木田字並柳71番地
国際交流会館 International House 街なかブランチ舟場 Machinaka Branch FUNABA	024-521-2428	〒960-8103 福島市舟場町4番30号
如春荘 Joshunso		〒960-8003 福島市森合字台13番地9号
艇庫 Boathouse		〒964-0203 二本松市木幡字西和代191番地9号
桜木町住宅 Sakuragicho Accommodation		〒960-8133 福島市桜木町8番1号
野田住宅 Noda Accommodation		〒960-8055 福島市野田町五丁目7番
松浪住宅 Matsunami Accommodation		〒960-8114 福島市松浪町1番29号